
注 意 事 項

デバイスや他の接続装置の損傷を防止するために、次の安全に関する注意事項をよくお読みください。

1. 電源（注：メーカーが取り付けまたは指定した電源をご使用ください）

不特定の電源装置を使用してデバイスを操作しないでください。

2.NVR の開口部にいかなるものを差し込まないでください。

感電やその他事故を避けるために、NVR の開口部に物を押し込まないでください。

3. 埃の多いところにデバイスを置かないでください

デバイスをほこりの多い場所に置かないでください。

4. デバイスを雨や湿度の高い環境下に置かないでください

デバイスを地下のような湿度の高い環境下に置かないでください。デバイスが水に触れた場合は、電源ケーブルを抜いてすぐに販売店にご連絡ください。

5. デバイスの表面を清潔で乾燥した状態に保ってください

NVR の外側のケースを清掃するには柔らかい布を使用してください（液体クリーナー等
は使用しないでください）

6. 何かしらの問題が見つかった場合は操作を中止してください。

NVR から奇妙な臭いや音がする場合は、電源ケーブルを抜いて販売店またはサービスセンターに連絡してください。

7. 上部カバーを取り外さないでください

警告：感電防止のため、NVR のカバーを取り外さないでください。

8. 取り扱い注意

何らかの影響で NVR が正常に動作しない場合は、販売店にお問い合わせください。

9. 標準のリチウム電池を使用してください

（注：メーカーが取り付けまたは指定した電池を使用してください）

10. 換気の良い場所にデバイスを置いてください

NVR システムには HDD が搭載されており、動作中に大量の熱を発生します。そのため、作動中にシステムを冷却するための通気口（上、下、両側、および裏側）をふさがないでください。

11. 付属の電源アダプターは、1 つの NVR にしか使用できません。

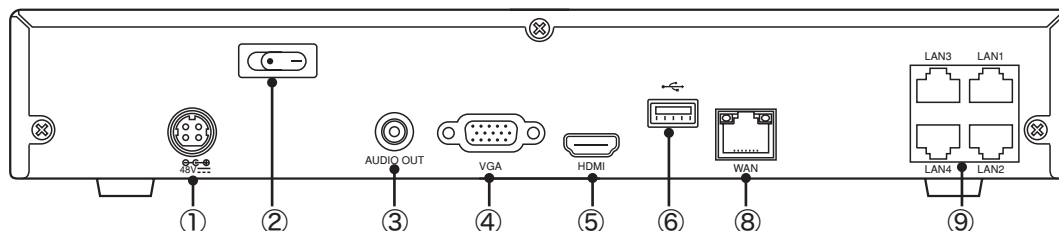
多くのデバイスに接続しないでください。電源が不十分な場合は、NVR が繰り返し再起動されることがあります。

12. 花瓶などの水が入ったものをデバイスの側に置かないでください。

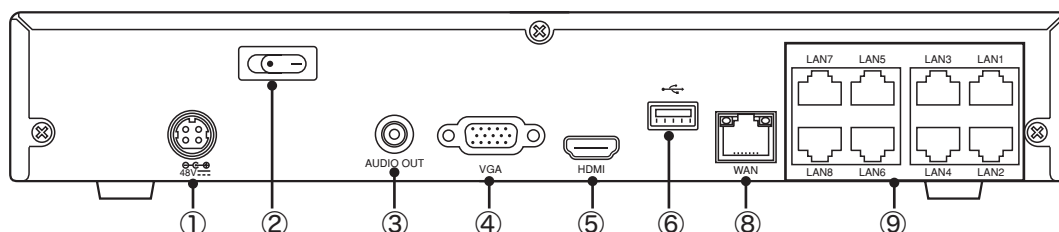
第 1 章 製品の概要

1.1 後面パネル

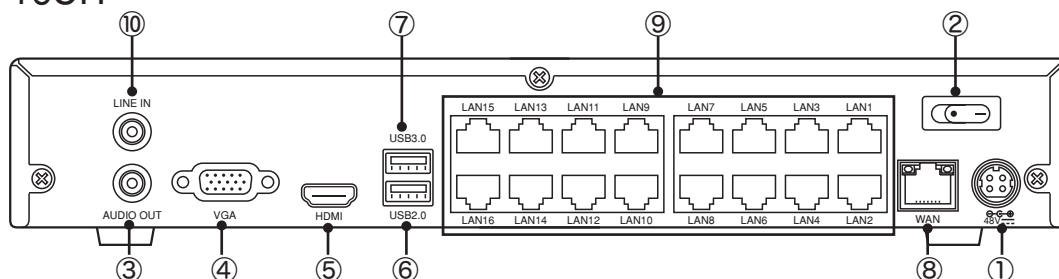
4CH



8CH

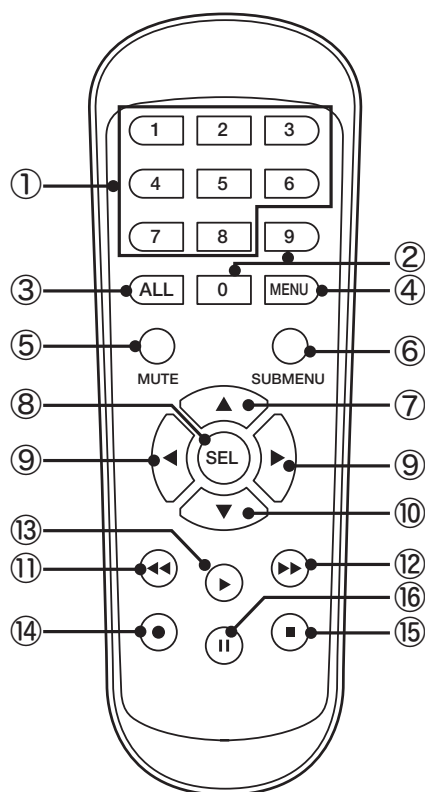


16CH



- | | |
|---------------|---------------------------------------|
| 1 電源ポート | 付属の電源を接続 |
| 2 電源スイッチ | 電源スイッチ |
| 3 オーディオ出力 | オーディオ信号出力、RCA インターフェース |
| 4 VGA ポート | PC モニターや VGA モニターに接続 |
| 5 HDMI ポート | HDMI ハイビジョンポート |
| 6 USB ポート | USB マウスや USB フラッシュディスクなどの USB デバイスを接続 |
| 7 USB ポート 3.0 | |
| 8 WAN ポート | ルーターのネットワーク入力またはインターネット接続 |
| 9 LAN ポート | LAN ネットワークは POE に対応し、カメラに電力を供給します |
| 10 オーディオ入力 | オーディオ信号入力、RCA インターフェース |

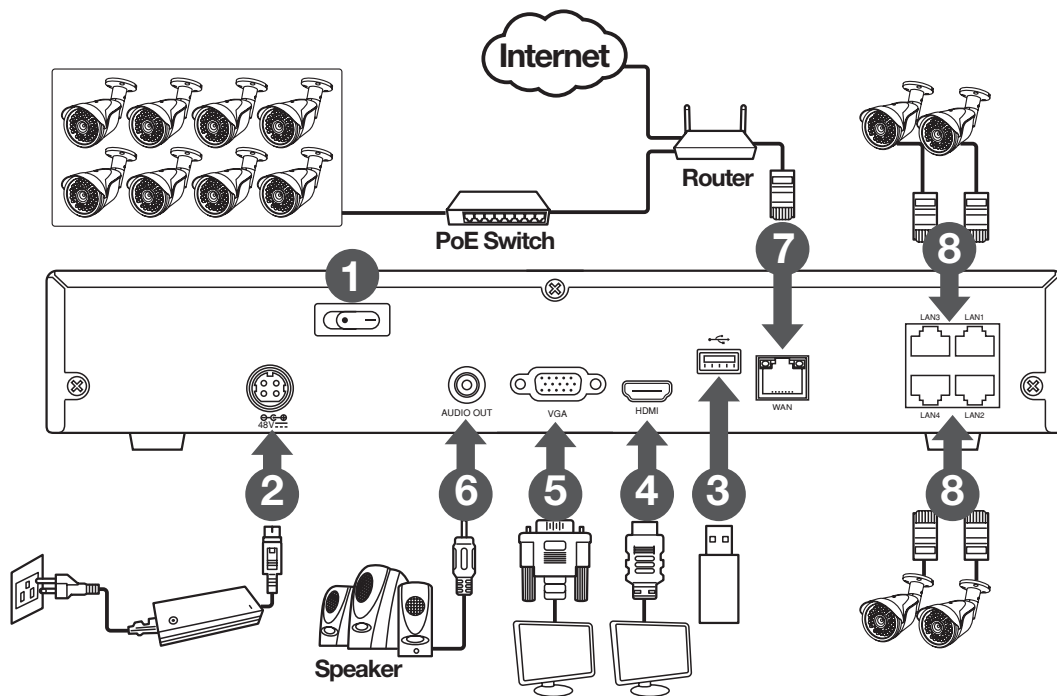
1.2 リモコン（参照のみ）



No.	アイコン	説明
1	1-8	数値キー
		1 ～ 8 のチャンネル
2	9、0	数値キー
3	ALL	すべてのチャンネル
		複数表示モード
4	Menu	メインメニュー
5	Mute	ミュート ON/OFF
6	Submenu	サブメニュー
7	▲	↑矢印キー、音量の増加
8	SEL	メニュー項目を選択
		設定の編集
9	◀ ▶	左右キー
10	▼	↓矢印キー、音量の減少
11	◀◀	巻き戻し
12	▶▶	早送り
13	▶	再生
14	●	録画
15	■	停止
16	⏸	一時停止

第2章 NVR の接続方法

2.1 接続図

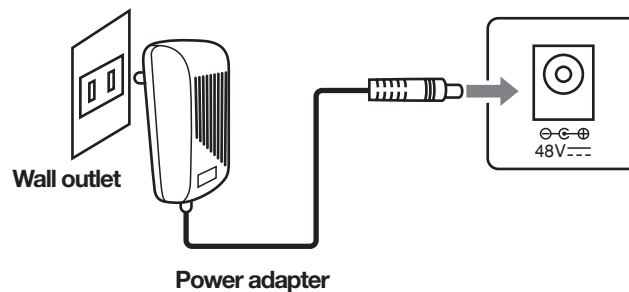


メモ：上の図は参照です。実際の接続は、NVR の機種によって異なる場合があります。

2.2 電源接続

注意：NVR に付属の電源アダプタを使用してください。

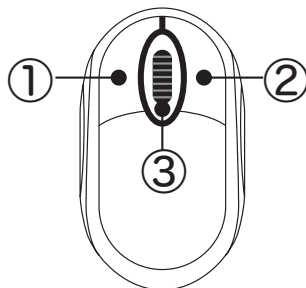
電源アダプタを NVR 背面電源コネクタに接続します。電源アダプタのもう一方をコンセントに差し込みます。



特定のモデルは、電源スイッチを押して電源を入れる必要があります。

第3章 NVR の一般的な操作

3.1 付属マウスの使用



1. 左ボタン:

- クリックしてメニューオプションを選択します。
- 分割画面で、チャンネルをダブルクリックするとフルスクリーンで表示されます。チャンネルをもう一度ダブルクリックすると、分割画面表示に戻ります。
- ライブ画面のチャンネルをクリックすると、カメラクイックツールバーが開きます。
- メニューモードでスライダとスケールをドラッグします。

2. 右ボタン:

- ライブ画面でタスクバーを開くには、一度クリックします。

3. スクロールウィール:

- メニューで、スクロールしてメニューコンテンツを上下に移動します。
- 音量にカーソルを合わせながらスクロールして、音量を上げ下げします。

3.2 仮想キーボードの使用

データを入力する必要がある場合は、仮想キーボードが画面に表示されます

大文字と句読点を入力



3.3 パスワード

初めて NVR を実行する際は、プライバシーを保護するためのパスワードを設定する必要があります。ユーザー名とパスワードを記録し、安全な場所に保管してください。

The screenshot shows a configuration window with the following fields and options:

- 言語 (Language): A dropdown menu with "日本語" (Japanese) selected.
- デバイスID (Device ID): A text input field containing "000000" with "(000000)" as a hint.
- New Admin Name: A text input field containing "admin".
- New Admin Password: A text input field with a "Show Password" checkbox to its right.
- Confirm Password: A text input field with a "Show Password" checkbox to its right.
- Unlock Pattern Enabled: A dropdown menu with "無効" (Disabled) selected.
- Apply: A button at the bottom right.

言語 : OSD 言語を選択する

デバイス ID : デバイス ID をかっこで囲んで入力してください。
デフォルト ID は 000000 です。
デバイス ID の詳細については、
5.6.1 一般を参照してください。

New Admin Name : 新しい管理者名を設定する。

New Admin Password : 新しいパスワードを設定する。
パスワードは 8 文字の組み合わせでなければなりません。

Confirm Password : 新しいパスワードをもう一度入力してください。

Unlock Pattern Enable : ジェスチャーパターンの設定できます

The screenshot shows a login window with the following fields and options:

- 言語 (Language): A dropdown menu with "日本語" (Japanese) selected.
- デバイスID (Device ID): A text input field containing "000000" with "(000000)" as a hint.
- ユーザー名 (Username): A dropdown menu with "admin" selected.
- パスワード (Password): A text input field with a "Show Password" checkbox to its right.
- ログイン (Login): A button at the bottom center.

「適用」をクリックして設定を完了し、ログインに進みます。ユーザー名とパスワードを入力して NVR にログインします。

メモ : パスワードを忘れた場合、NVR にログインできなくなります。販売元に連絡してパスワードをリセットしてください。

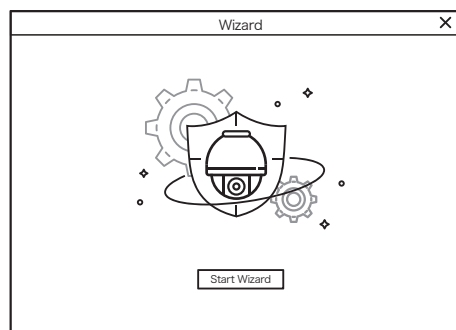
第4章 NVRの設定

4.1 スタートウィザードから設定します

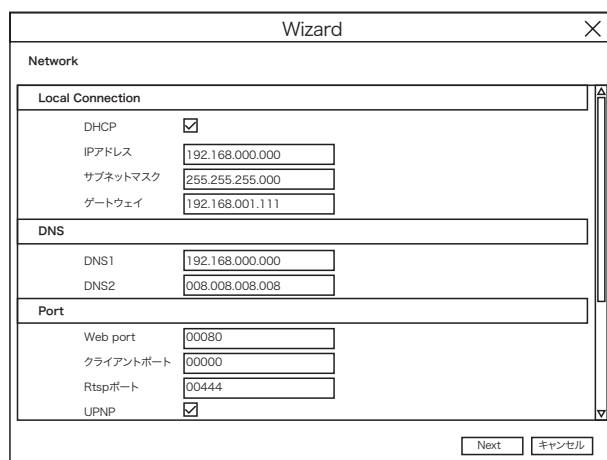
スタートウィザードは、システムの設定を素早く設定するようにします。

4.1.1 スタートウィザード

StartWizard をクリックして次のステップに進みます。



4.1.2 ネットワーク設定



Network	
Local Connection	
DHCP	☒
IPアドレス	192.168.000.000
サブネットマスク	255.255.255.000
ゲートウェイ	192.168.001.111
DNS	
DNS1	192.168.000.000
DNS2	008.008.008.008
Port	
Web port	00080
クライアントポート	00000
Rtspポート	00444
UPNP	☒

DHCP にチェックを入れると、自動で IP アドレスを割り振られます。

IP アドレス : 割り振られたアドレスを表示します。

サブネットマスク : サブネットマスクを表示します。

ゲートウェイ : 一層上のアドレス今回はルーターのアドレスを表示します。

DNS1/DNS2 : DNS1 はプライマリ DNS サーバーで、
DNS2 はバックアップ DNS サーバーです。
通常、DNS1 サーバーのアドレスを入力するだけで十分です。

Web Port : NVR にリモートでログインするために使用するポートです
(Web クライアントなど)。

既定のポート 80 が既に他のアプリケーションによって使用されている場合は、変更してください。

クライアントポート: NVR が情報を送信するために使用するポートです (モバイルアプリなど)。定のポート 9000 が既に他のアプリケーションによって使用されている場合は、変更してください。

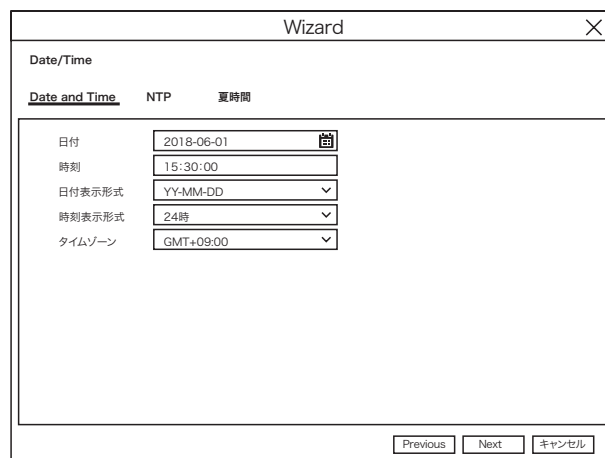
RTSP ポート : NVR が他のデバイスにリアルタイムストリーミングを送信することを許可されるポートです (ストリーミングメディアプレーヤーを使用するなど)。

UPNP : Web Client を使用して NVR にリモートログインする場合は、ルーターでポート開放する必要があります。ルーターが UPnP をサポートしている場合は、このオプションを有効にします。この場合、ルーターでポート開放を手動で設定する必要はありません。ルーターが UPnP をサポートしていない場合は、ルーターでポート開放を手動で行ってください。

4.1.3 Date/Time

日付、時刻、日付形式、時刻形式、タイムゾーン、NTP、および DST を構成できます。

DateandTime



日付 : システム日付を設定するには、カレンダーアイコンをクリックします。

時刻 : クリックすると、システム時刻が設定されます。

日付表示形式 : プルダウンメニューから希望の日付形式を選択します。

時刻表示形式 : 24 時間から 12 時間までの時間形式を選択します。

タイムゾーン : 正しいタイムゾーンを設定してください。(日本は、GMT+09 : 00)

NTP

Network Time Protocol（ネットワークタイムプロトコル）の略です。この機能を使用すると、インターネット経由で NVR 上の日付と時刻を自動的に同期させることができます。したがって、NVR はインターネットに接続する必要があります。

The screenshot shows a 'Wizard' window with a close button (X) in the top right corner. The title bar is 'Wizard'. Inside, the 'Date/Time' section has three tabs: 'Date and Time', 'NTP' (which is selected), and '夏時間'. Under the 'NTP' tab, there is a checkbox labeled 'Enable NTP' which is checked. Below it is a text field labeled 'サーバアドレス' (Server Address) containing 'pool.ntp.org'. A button labeled '今すぐ時刻調整する' (Adjust time now) is located below the text field. At the bottom of the window are three buttons: 'Previous', 'Next', and 'キャンセル' (Cancel).

“NTP” ボックスをチェックし、NTP サーバーを選択します。

DST

サマータイム設定です。日本では設定の必要がありません

The screenshot shows a 'Wizard' window with a close button (X) in the top right corner. The title bar is 'Wizard'. Inside, the 'Date/Time' section has three tabs: 'Date and Time', 'NTP', and '夏時間' (which is selected). Under the '夏時間' tab, there is a checkbox labeled 'Enable DST' which is unchecked. Below it are several dropdown menus: '時間オフセット' (Time Offset) set to '1時', '夏時間' (Summer Time) set to '週', '開始時刻' (Start Time) with '3月', '第2週', '日曜日', and '02:00:00', and '終了時刻' (End Time) with '11月', '第1週', '日曜日', and '02:00:00'. At the bottom of the window are three buttons: 'Previous', 'Next', and 'キャンセル' (Cancel).

- DST : サマータイムの設定
- 時間オフセット : サマータイムのオフセット時間を選択する。
- 夏時間 : 週または日単位で夏時間を設定できます。
- 開始時間 / 終了時間 : サマータイムの開始時刻と終了時刻を設定できます。

4.1.4 IP Camera

NVR に IP カメラを追加できます。

IP Camera				
☐	No.	IPアドレス/ドメインネーム	ポート	製造者
検索				

☐	チャンネル	編集	状態	IPアドレス/ドメインネーム
☐	POE CH1			
☐	POE CH2			
☐	POE CH3			
☐	POE CH4			
チャンネル削除				

検索をクリックして、同じネットワーク内の IP カメラを検索します。追加する IP カメラを選択し、

アイコン ➡ をクリックしてNVRに追加します。もしくは、**+** ボタンをクリックして、個々の IP カメラを各チャンネルに追加することもできます。

Add IP Camera						
No.	IPアドレス/ドメインネーム	ポート	製造者	デバイスタイプ	MACアドレス	ソフトウェアバージョン
1	192.168.24.105	9989		IP CAMERA	84-61-ED-11-01-A7	V4.41.4.8_
2	192.168.24.106	8999	IPC-E11000		84-61-ED-11-01-C5	
3	192.168.24.112	8999	IPC-D41000		84-61-ED-11-01-8D	
4	192.168.24.115	9988		IP CAMERA	84-61-ED-11-01-D0	V4.41.4.8_

IPアドレス/ドメインネーム

エイリアス

位置

ポート

プロトコル

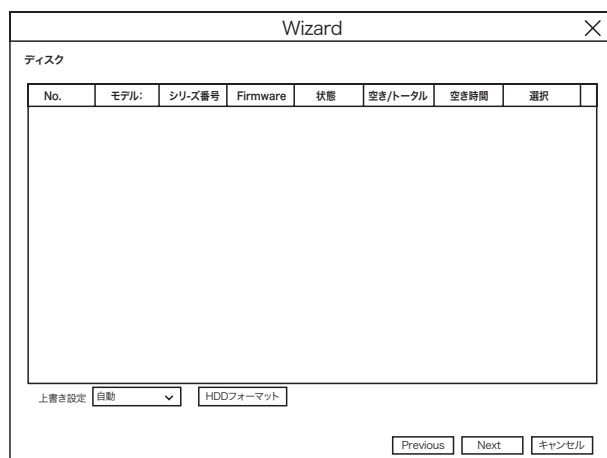
ユーザー名

パスワード ☐ Show Password

検索ボタンをクリックして IP カメラを検索し、デバイスリストの IP カメラの 1 つをクリックします。

IP アドレス / ドメインネーム : IP カメラの IP アドレスまたはドメイン名
エイリアス : IP カメラの名前
位置 : カメラ名を画面に表示する位置
ポート : IP カメラのポート
プロトコル : ドロップダウンメニューから IP カメラのプロトコルを選択します
ユーザー名 : IP カメラのユーザー名
パスワード : IP カメラのパスワード
チャンネルバインド : 接続したい NVR のチャンネルを選択してください

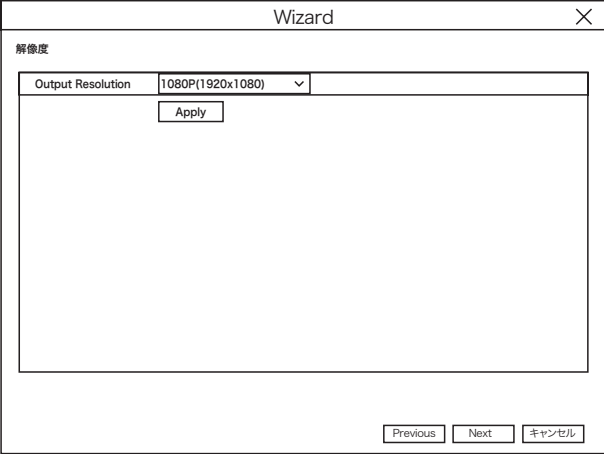
4.1.5 ディスク



HDD が NVR に初めてインストールされた場合は、フォーマットする必要があります。
HDD を選択し、HDD のフォーマットボタンをクリックすると HDD がフォーマットされます。
上書き設定 : HDD がいっぱいになったときに古い録画を上書きすることができます。

4.1.6 解像度

モニターに合った出力解像度を選択してください。NVR は、システムの起動時にモニターの最高解像度に合わせて自動的に出力解像度を調整することができます。



The screenshot shows a window titled "Wizard" with a close button (X) in the top right corner. The main content area is labeled "解像度" (Resolution). It contains a table with one row: "Output Resolution" with the value "1080P(1920x1080)" and a dropdown arrow. Below the table is an "Apply" button. At the bottom of the window are three buttons: "Previous", "Next", and "キャンセル" (Cancel).

解像度	
Output Resolution	1080P(1920x1080) ▼

Apply

Previous Next キャンセル

4.1.7 モバイル

アプリをダウンロードして、QR コードをスキャンして、NVR を遠隔監視できます。



The screenshot shows a window titled "Wizard" with a close button (X) in the top right corner. The main content area is labeled "Mobile". It contains a table with the following information:

P2P ID	
P2P ID	RSV1805012589200

Local Connection

IPアドレス	192.168.0.0
サブネットマスク	255.255.255.0

Port

Web port	80
クライアントポート	9000

To the right of the table is a QR code. At the bottom of the window are three buttons: "Previous", "Next", and "キャンセル" (Cancel).

4.1.8 概要

開始ウィザードで設定したシステム要約情報を確認し、ウィザードを終了することができます。

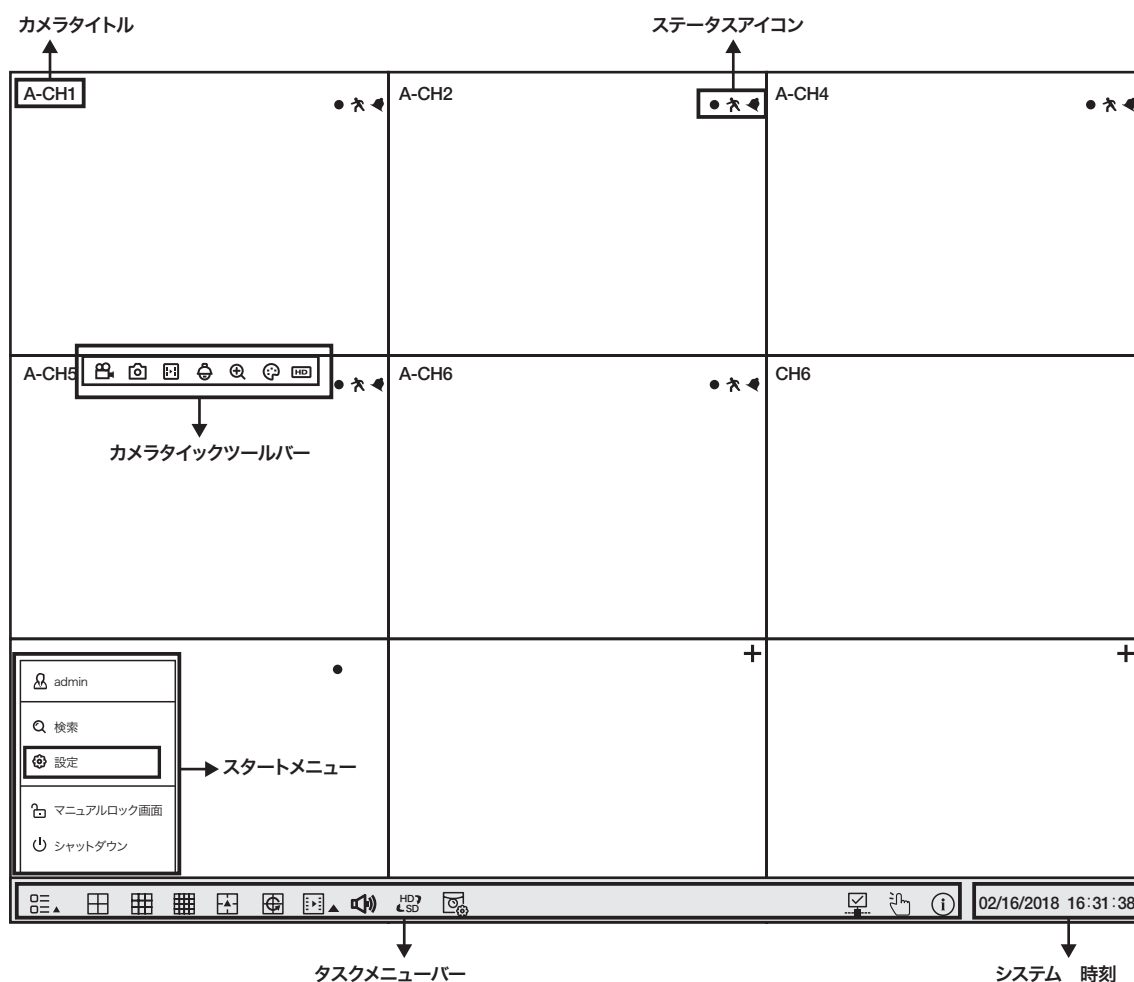
次にシステムを再起動したときにスタートウィザードを表示したくない場合は、「次回このウィンドウを表示しない」をチェックしてください。

The screenshot shows a window titled "Wizard" with a close button (X) in the top right corner. Below the title bar is a section labeled "Summary". Inside this section is a table with system configuration details. The table is organized into two main categories: "システム" (System) and "Network".

システム	
解像度	1080P(1920x1080)
Date/Time	07/01/2018 23:00:53. GMT+09:00
NTP	ON
夏時間	オフ
Network	
DHCP	ON
IPアドレス	192.169.0.11
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.0.1
DNS1	192.168.0.1
DNS2	8.8.8.8

Below the table, there is a checkbox labeled "Don't show this window next time." which is currently unchecked. At the bottom right of the window, there are two buttons: "Previous" and "Finish".

4.2 ライブ画像 スクリーン表示



カメラタイトル カメラ個々の名前を表示します。

状況アイコン NVR が現在録画中であることを示します。



NVR が現在録画中であることを示します。



カメラがモーションを検出したときに表示されます。



外部 I / O アラームデバイスがトリガーされたことを示します



HDD の動作に誤りがあることを示します



HDD がフォーマットされていないことを示します



HDD がいっぱいであることを示します。



HDD が読み取り専用であることを示します。

カメラなし: アナログカメラが接続されていません。

NoCamera: IP カメラが接続されていません。

DecodingFailed: NVR はこの種の IP カメラ圧縮規格をサポートしていません。
H.264 圧縮規格に変更してください。

-  クリックするとクイック追加メニューが開き、IP カメラを追加できます。
-  クリックすると現在の IP カメラを編集できます。

4.2.1 クリックツールバー



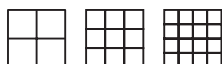
ライブ画面では、接続されているカメラ上でマウスの左ボタンをクリックすると、クリックツールバーが表示されます。

-  クリックすると、チャンネルを手動で録画できます。手動録画が進行中の場合、アイコンは赤色になります。もう一度クリックすると、手動記録を停止します。
-  クリックすると、現在のカメラ画像のスナップショットが保存されます。この機能を使用するには、手動キャプチャーを有効にする必要があります。手動キャプチャーの有効化の詳細については、「5.2.3.1 キャプチャー」を参照してください。
-  クリックするとこのチャンネルの最新の 5 分間の録画が再生されます
-  クリックすると PTZ コントロールパネルに入ります
-  クリックするとチャンネルが拡大表示されます。マウスホイールを回すことでズームイン、ズームアウトが可能です。
-  クリックすると、チャンネルの画像の色を調整できます。画像の色合い、明るさ、コントラスト&サチュレーションを調整することができます。
-  ライブビデオストリームを HD と SD の間で切り替える。HD はメインストリームライブビュー、SD はサブストリームライブビューです。

4.2.2 タスクバー



クリックして [スタート] メニューを開き、各項目に移動します。



クリックすると、分割画面を選択できます。



ライブビューのレイアウトをさらに選択する場合はクリックしてください (4ch 使用不可)



クリックするとシーケンス表示します



クイック再生。 初日から全チャンネルの最新録音を再生するか、最新の5秒、10秒、30秒、1分、5分の中から再生を選ぶことができます。



クリックすると音量が調整できます。



クリックすると、メインストリームとサブストリームが切り替わります。



クリックすると、ライブ画像が、リアルタイム・バランス・スムーズと切り替わります。ビューエフェクトモードは、ビットレートとフレームレートでライブビューのビデオ品質にのみ影響しますが、録画品質には影響しません。



手動録画と手動アラームの ON/OFF



システム情報、チャンネル情報、レコード情報、およびネットワーク状態を表示する。



このアイコンは、ネットワークが切断されている場合に表示されます。

4.2.3 スタートメニュー

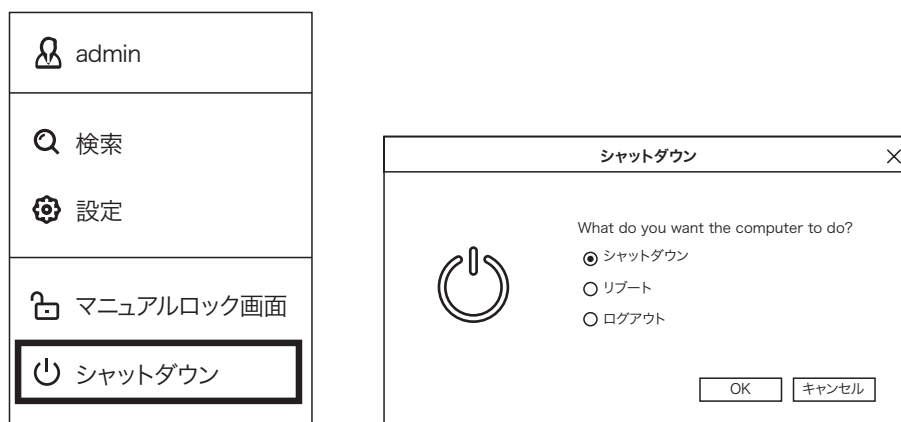
スタートメニューでは、ユーザー、検索と再生の切り替え、システムセットアップメニューの入力、画面のロックとアンロック、シャットダウン、システムの再起動とログアウトを行うことができます。

 admin	ユーザーを切り替える。5.6.3 マルチユーザー参照
 検索	検索と再生 第6章 検索・再生・バックアップ参照
 設定	セットアップ 第5章 NVR システム参照
 マニュアルロック画面	マニュアルロック 4.2.3.1 スクリーンのロックと解除参照
 シャットダウン	シャットダウン・再起動・ログアウト 4.2.3.2 シャットダウン参照

4.2.3.1 画面のロックと解除

 admin	NVR の 1 分間メニュー操作がないと、画面がロックされて不正な OSD 操作から保護されます。
 検索	必要に応じて、画面操作を手動でロックすることもできます。手動ロックはスタートメニューから、ロック画面アイコン  クリックしてすぐにシステムをロックします。
 設定	を
 マニュアルロック画面	システムがロックされている場合、ロック解除アイコン  クリックして解除してください。
 シャットダウン	

4.2.3.2 シャットダウン



スターメニューからシャットダウンボタンをクリックして、移動したいアクションを確認します。[OK] ボタンをクリックすると、認証のために管理者パスワードを入力する必要があります。

システムのログアウトを選択すると、ライブ表示画面は消えます。その後の操作のためにシステムにログインする必要があります。

言語	日本語	▼
デバイスID	000000	(000000)
ユーザー名	admin	▼
パスワード		☐ Show Password
ログイン		

第 5 章 NVR システム設定

NVR のチャンネル、録画、アラーム、ネットワーク、デバイス、およびシステムの設定
スタートメニュー 設定

 Channel Channel ライブ イメージコントロール PTZ モーション ビデオカバー設定 Intelligent	 Record Encode 録画設定 キャプチャ	 警報 モーションアラーム設定 PTZ Linkage Exception
 Network 全般的設定 DDNS Email FTP	 Device ディスク管理 クラウド	 System 全般的設定 マルチユーザ背景 保守設定 IP Camera Maintain Information

5.1 チャンネル

このセクションでは、カメラの設定、ライブビューの表示、IP カメラの管理、IP カメラの画像の調整、PTZ 設定、モーションセットアップ、変換モードなどを行うことができます。

5.1.1 IP チャンネル

No.	編集	IPアドレス/ドメインネーム	サブネットマスク	ポート	製造者	デバイスタイプ	プロトコル	MACアドレス	ソフトウェアバージョン
POE CH1	✎	192.168.24.161	255.255.255.0	9988	IPCAMERA	Private	84-6A-ED-11-00-0E	V4.1.4.8.180516	
POE CH2	✎								
POE CH3	✎								
POE CH4	✎								

AUTO Mode : Poe マークが現れ、弊社専用のPRIVATE プロトコルを有するカメラを、POE 専用ポートに差し込めば自動で設定され映像が表示されます。

Manual Mode : 手動モード時は下記の手順でカメラを設定できます。

[検索] をクリックしてローカルネットワークから IP カメラを検索します。

[追加] をクリックすると個別の IP カメラが追加できます。

[全て追加] をクリックするとすべての IP カメラが追加できます。

IPアドレス/ドメインネーム: 192.168.1.211

エイリアス: CH4

位置: 左上

ポート: 80

プロトコル: Private

ユーザー名: admin

パスワード: ●●●●

チャンネルバインド: CH4

☐ Show Password

検索 Default Password 追加 キャンセル

[検索] ボタンをクリックして IP カメラを検索し、デバイスリストの IP カメラの 1 つをクリックします。

IP アドレス / ドメイン名: IP カメラの IP アドレスまたはドメイン名

エイリアス : IP カメラの名前

位置 : カメラ名を画面に表示する位置

ポート : IP カメラのポート

プロトコル : ドロップダウンメニューから IP カメラのプロトコルを選択します

ユーザー名 : IP カメラのユーザー名

パスワード : IP カメラのパスワード

チャンネルバインド : 接続したい NVR のチャンネルを選択してください

Default Password : IP カメラの初期パスワードが確認できます。

5.1.2 プロトコル管理

プロトコル管理を使用すると、IP カメラ接続用の独自の RTSP プロトコルを編集できます。

設定 Channel Record Alarm Network Device System

Channel

ライブ
イメージコントロール
PTZ
モーション
ビデオオーバーレイ設定
Intelligent

Ip Channel プロトコル管理

カスタムプロトコル カスタムプロトコル1

プロトコル名 Custom1

ストリームタイプ メインストリーム サブストリーム

ストリーム有効 ☒

タイプ RTSP RTSP

ポート 554 554

リソースパス rtsp://10.0.0.150:554/ch01/0 rtsp://10.0.0.150:554/ch01/1

例:
【タイプ】://【IPアドレス:ポート】/【リソースパス】
rtsp://192.168.0.1:554/resourcesPath

デフォルト Apply

カスタムプロトコル：最大 10 のカスタムプロトコルオプションをサポートします。

プロトコル名：プロトコルの名前を設定します。

ストリーム有効：サブストリームを有効にする場合は、
このチェックボックスをオンにします。

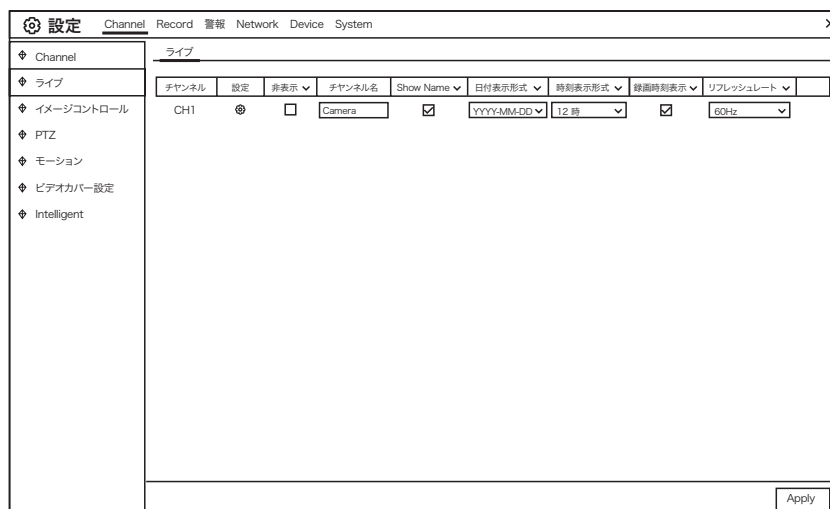
タイプ：今すぐ利用可能な RTSP のみ

ポート：IP カメラの RTSP ポートを入力します。

リソースパス：IP カメラの RTSP アドレスを入力してください。

5.2 ライブ

カメラのパラメータを設定します。



チャンネル：チャンネル名

設定  ：設定ページのアイコンをクリックします。

チャンネル	CH1	▼
チャンネル名	Camera	
日付表示形式	YYYY-MM-DD	▼
時刻表示形式	12時	▼
リフレッシュレート	60Hz	▼
☒ Show Name		
☒ 録画時刻表示		
色相 <input type="range"/> 128 輝度 <input type="range"/> 128 コントラスト <input type="range"/> 128 彩度 <input type="range"/> 128 デフォルト		

設定するチャンネルを選択する
カメラに名前をつける

カメラに表示する日付形式
カメラに表示する時間形式
カメラのリフレッシュレート

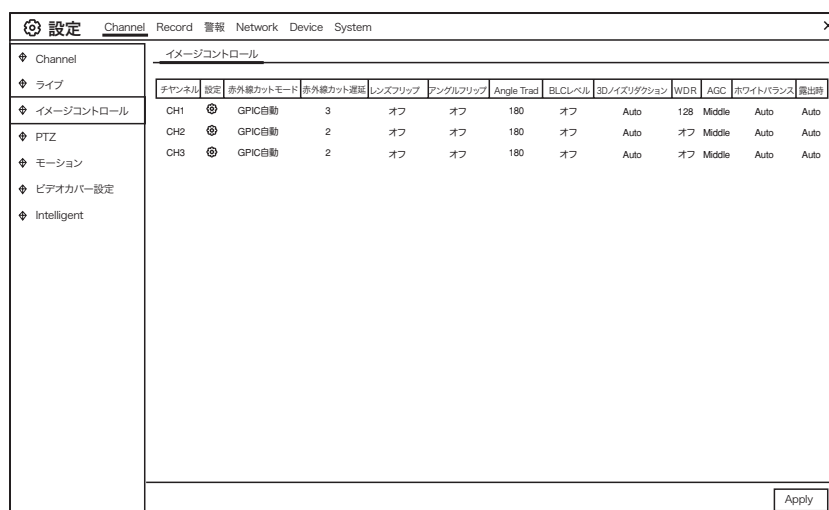
ライブビュー画面でカメラ名を表示する。
ライブビュー画面でシステム時刻を表示する。

色相値を調整する
輝度値を調整する
コントラスト値を調整する
彩度を調整します

デフォルトをクリックしてデフォルト設定をロードし、
[APPLY] をクリックして設定を保存し、マウスの右ボタン
をクリックして終了します。

5.3. イメージコントロール

サポートされている IP カメラの画像設定を制御できます。



チャンネル：チャンネル名

設定 ：リックして設定画面に入ります。

チャンネル

赤外線カットモード

赤外線カット遅延

☐ レンズフリップ ☐ アングルフリップ

Angle Trad

バックライト

3Dノイズリダクション

レベル

WDR

AGC

ホワイトバランス

シャッター

Defog Mode

設定するチャンネルを選択する

昼・夜において適切なモードに選択します

IR-CUT 切り替えの遅延時間を設定する

レンズフリップとアングルフリップを可能にする

フリップ角度を設定する

バックライト補正を有効または無効にする

バックライト補正レベルを選択する

3DNR を有効または無効にする

3DNR レベルを設定する

明るい光源で暗闇の中で撮影するときビデオの明るさとコントラストを自動的に調整できるようにする。

WDR レベルを設定する

オートゲインコントロール

ホワイトバランス調整

シャッターモードを設定する

カメラの露出時間を選択する

霧の多い環境で画像品質を改善する

5.4. PTZ

ドームカメラの PTZ（パン・チルト・ズーム）設定を行うことができます

チャンネル	Signal Type	プロトコル	ボーレート	データビット	ストップビット	パリティ	アドレス
CH1	Digital	Pelco-D	9600	8	1	なし	1

- チャンネル : チャンネル名
- Signal Type : アナログカメラと IP カメラの選択をします。
(本機は、IP カメラのみに対応します)
- プロトコル : PTZ 対応カメラと NVR の通信プロトコルを選択します。
- ボーレート : NVR から PTZ 対応カメラに送信される情報の速度。
PTZ 対応カメラと NVR が一致していることを
確認してください。
- データビット / ストップビット : NVR カメラと PTZ 対応カメラの間の情報は、
個々のパッケージで送信されます。データビットは送信
されたビット数を示し、ストップビットはパッケージの
終了と次の（情報）パッケージの開始を示します。
データビットで使用できるパラメータは、
8,7,6、および 5 です。ストップビットで使用できる
パラメータは 1 または 2 です。
- パリティ : エラーチェックのため。この設定を行うには、
PTZ 対応カメラのマニュアルを参照してください。
- アドレス : PTZ システムのコマンドアドレスを設定します。
各 PTZ 対応カメラは、
正常に機能するためには唯一のアドレスが必要です

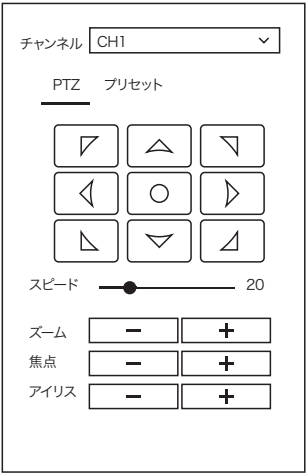
5.4.1 PTZ コントロール

PTZ 設定が完了したら、PTZ 機能を使用して PTZ カメラを制御できます。

1) Live Viewing（ライブビュー）画面のチャンネルをマウスで左クリックすると、Camera Quick Toolbar（カメラクイックツールバー）が開きます。

PTZ コントロールアイコンを選択してください 。

2) PTZ パネルが表示されます



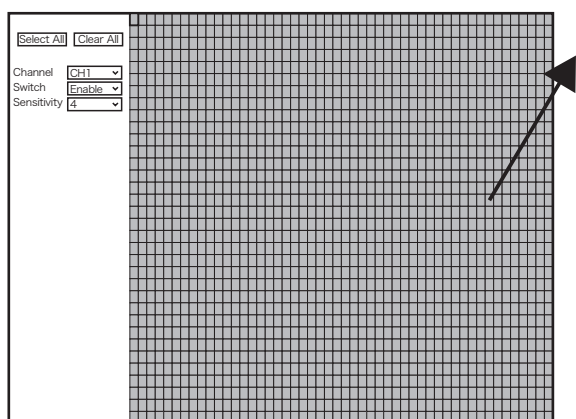
No.	Item	Description
1	チャンネル	クリックして、PTZ カメラのチャンネルを選択します
2	方向キー	上下左右のキーを押すと、カメラの方向が変わります
3	スピード	PTZ スピードを調整する
4	ズーム	クリックするとズームイン / アウトします
	焦点	クリックするとフォーカスが調整されます
	アイリス	クリックしてアイリス設定を調整する

5.5. モーション検知

モーションパラメータを設定できます。1 つまたは複数のカメラで動きが検出されると、NVR はモーションを検知し警告します。カメラから添付された画像を電子メールで送信し、（このオプションが有効な場合）、またはモバイルアプリ経由でプッシュ通知を送信することができます。

チャンネル	設定	スイッチ	感度
CH1	⊗	☒	5
CH2	⊗	☒	4
CH3	⊗	☒	4

Setup : アイコンをクリックし、設定ページに追加します。



モーション検知エリア：

画面全体に動き検出用のマークが付いていません（赤いブロック）。特定の領域でモーション検出を無効にする場合は、グリッドカーソルをクリックし、マウスをドラッグして範囲を強調表示し、領域を透明ブロックにマークします。設定が完了したら、マウスの右ボタンをクリックして戻るには [保存] をクリックしてください

エリア設定が有効です

スイッチ : モーション検出を有効または無効にします。

感度 : 感度レベルを設定します。レベル 1 は最低感度レベルであり、レベル 8 は最高感度レベルです。

5.5.1 アラーム（本製品には対応しません）

アラームボタンをクリックして、モーション検知アラーム機能を設定します。

チャンネル	ブザー	録画	録画継続時間	メッセージ表示	Eメール送信	全画面表示	FTP Upload
CH1	無効	☒ ON	30秒	☒	☒	☐	☒
CH3	無効	☒ ON	30秒	☒	☒	☐	☒

チャンネル : チャンネル名

ブザー : NVR は内部ブザーを使用してアラーム音を鳴らすことができます。
動きが検出されたときにブザーの持続時間を秒単位で設定できます。

録画継続時間 : モーションが検出されたときに外部アラーム時刻を設定する。

録画 : クリックするとモーション検出がトリガーされたときに録画します。

☒ Record Channel

☐ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16

メッセージ表示 : モーションが検出されたときにライブビュー画面に アイコンを表示するには、このチェックボックスをオンにします。

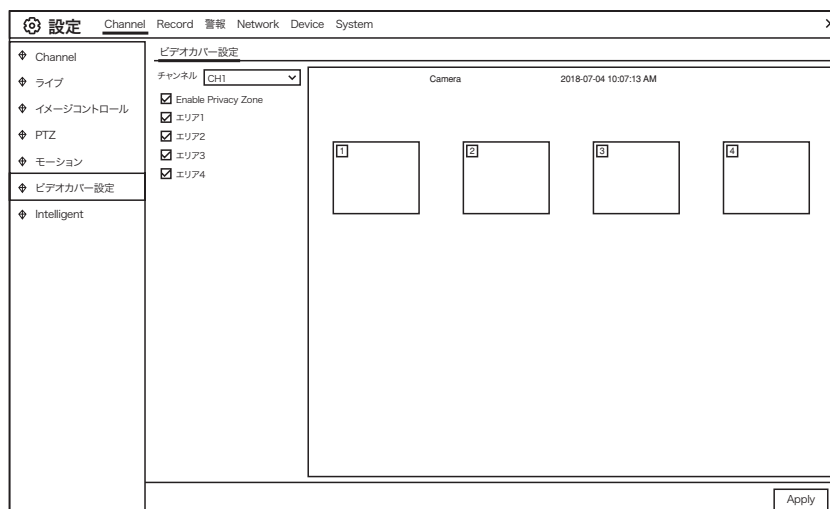
Email 送信 : モーションが検出されると、NVR に自動電子メールを送信させることができます。

全画面表示 : この機能を有効にして、チャンネル内でモーションが検出された場合は、そのチャンネルがフルスクリーンで表示されます。

FTP Upload : 動きが検出されたときに FTP サーバーにアラーム画像をアップロードする。FTP を有効にするには、5.4.4 FTP をご覧ください。

5.1.8 ビデオカバー（モザイク）設定

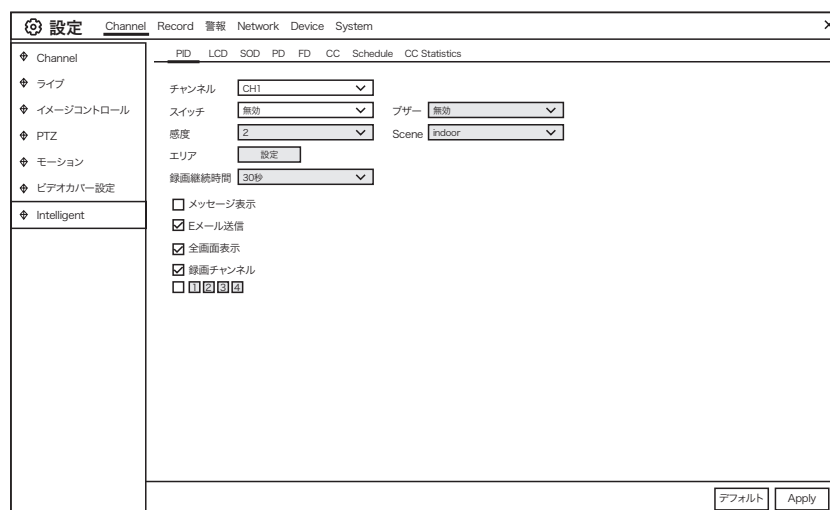
このメニューでは、画像の一部にモザイクを作成することができます。カメラ画像の任意のサイズと場所に最大 4 つのモザイクを作成できます。モザイクを有効にし、必要なゾーンの数を選択します。ゾーンは「赤いボックス」として表示されます。赤い枠の端をクリックし、任意のサイズにドラッグしてプライバシーゾーンを作成します。



注：設定したプライバシーゾーンの領域は、ライブビューと録画ビデオの両方で非表示になります

5.1.9 Intelligent

境界侵入検知機能、ライン交差検知、固定オブジェクト検知、歩行者検知、顔検出、およびクロスカウントを含むオプションのインテリジェント機能。（重複ができない機能がありますので各機能で使用ください）



5.1.9.1PID（境界侵入検知機能）

境界侵入検知機能は、あらかじめ定義された仮想領域に入ったり来たりしている人、車両、またはその他の物体を検出し、アラームがトリガーされた時にいくつかの特定のアクションをとることができます。

設定

Channel

Record

情報

Network

Device

System

Channel

ライブ

イメージコントロール

PTZ

モーション

ビデオカバー設定

Intelligent

PID

LCD

SOD

PD

FD

CC

Schedule

CC Statistics

チャンネル

スイッチ

感度

エリア

録画継続時間

☐ メッセージ表示
 ☒ Eメール送信
 ☒ 全画面表示
 ☒ 録画チャンネル

☐ ☐ ☐ ☐

CH1

無効

2

設定

30秒

ブザー

無効

Scene

indoor

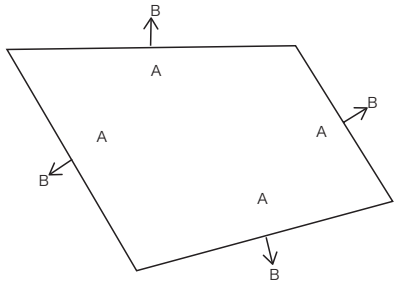
デフォルト

Apply

- | | |
|---------|---|
| チャンネル | : 設定するチャンネルを選択してください |
| スイッチ | : PID 機能を有効または無効にする |
| ブザー | : 検出がトリガーされたときにブザーが 10,20,40、または 60 秒でアラーム音を鳴らすようにするかどうかを設定する |
| 感度 | : 感度レベルは 1 ~ 4 です。高感度であれば、検出をトリガーするのが容易になります。 |
| Scene | : シーンの設定には、屋内と屋外が含まれます。カメラの設置場所に合わせてシーンを選んでください。 |
| Area | : [設定] をクリックすると、カメラ画像に仮想領域が描画されます。 |
| 録画継続時間 | : イベントが発生してから NVR が記録を続ける時間を設定できます。 |
| メッセージ表示 | : PID 機能が起動されると、画面に文字 "S" が表示されます。 |
| E メール送信 | : アラームが発生すると、電子メールが設定されたメールアカウントに送信されます |
| 全画面表示 | : 検出がトリガーされるとチャンネルはフルスクリーンに拡大されます。 |
| 録画チャンネル | : 検出がトリガーされたときに録画するチャンネルを選択します。 |

エリア（設定）ボタンを押すと下記設定画面が表示されます。

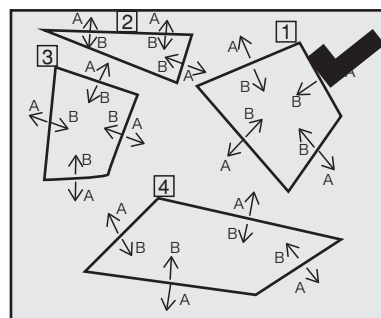
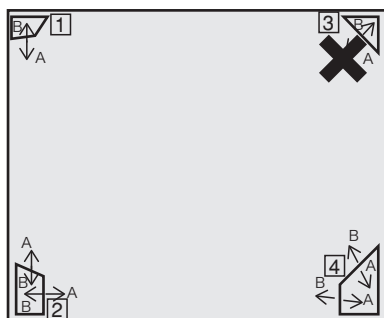
Rule Number	1 ▼
Rule Switch	Disable ▼
Rule Type	A→B ▼
Remove Remove All Save	



1. Rule Number: PID 領域の番号を選択します。
PID 機能に設定できるのは最大 4 エリアです。
2. Rule Switch: ルールスイッチで検出を有効にする。
3. Rule Type: ルールタイプを選択する
A → B : NVR はサイド A からサイド B へのアクションのみを検出します。
B → A : NVR はサイド B からサイド A へのアクションのみを検出します。
A ⇔ B : NVR は、B 面から A 面へ、または A 面から B 面への動作を検出します。
4. マウスをクリックしてカメラ画像内の 4 点をクリックし、仮想領域を描画します。
領域の鮮明度は凸多角形でなければなりません。凹面多角形は保存できません。
5. [保存] をクリックして設定を保存します。
6. 領域の位置や鮮明度を変更する場合は、その領域の赤いボックスをクリックすると、領域の境界線が赤色に変わります。マウスの左ボタンを長押しして領域の位置を移動するか、コーナーをドラッグして領域のサイズを変更します。
7. カメラ画像から領域の 1 つを削除する場合は、その領域内の赤いボックスをクリックし、「Remove」ボタンをクリックします。[Remove All] をクリックすると、すべての領域が削除されます。

通知：

- 1) ターゲットがエッジ / コーナーを通過するときに検出をトリガーすることができないため、周囲はカメラ画像のエッジ / コーナーにあまり近づけてはならない。
- 2) 標的が周囲の外を通過するときに検出を引き起こすことができないので、領域の形状はあまりにも狭く / 小さくてはならない。



5.1.9.2 LCD (ライン交差検知)

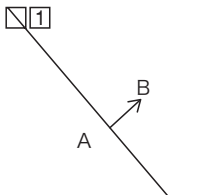
ライン交差検出機能は、あらかじめ定義された仮想線を横切る人、車両、または他の物体を検出し、アラームがトリガーされた時にいくつかの特定のアクションをとることができます。

設定	
Channel Record 警報 Network Device System	
PID LCD SOD PD FD CC Schedule CC Statistics	
Channel	チャンネル: CH1
ライブ	スイッチ: 無効
イメージコントロール	ブザー: 無効
PTZ	感度: 4
モーション	Scene: Indoor
ビデオカバー設定	エリア: [設定]
Intelligent	録画継続時間: 30秒
	☐ メッセージ表示 ☒ Eメール送信 ☒ 全画面表示 ☒ 録画チャンネル ☐ [アイコン]
デフォルト Apply	

- チャンネル : 設定するチャンネルを選択してください
- スイッチ : LCD 機能を有効または無効にする
- ブザー : 検出がトリガーされたときにブザーが 10,20,40、または 60 秒でアラーム音を鳴らすようにするかどうかを設定する
- 感度 : 感度レベルは 1 ~ 4 です。高感度であれば、検出をトリガーするのが容易になります。
- Scene : シーンの設定には、屋内と屋外が含まれます。カメラの設置場所に合わせてシーンを選んでください。
- Area : [設定] をクリックすると、カメラ画像に仮想領域が描画されます。
- 録画継続時間 : イベントが発生してから NVR が記録を続ける時間を設定できます。
- メッセージ表示 : LCD 機能がトリガーされると、文字 "S" が画面に表示されます。
- E メール送信 : アラームが発生すると、電子メールが設定されたメールアカウントに送信されます
- 全画面表示 : 検出がトリガーされるとチャンネルはフルスクリーンに拡大されます。
- 録画チャンネル : 検出がトリガーされたときに録画するチャンネルを選択します。

エリア（設定）ボタンを押すと下記設定画面が表示されます。

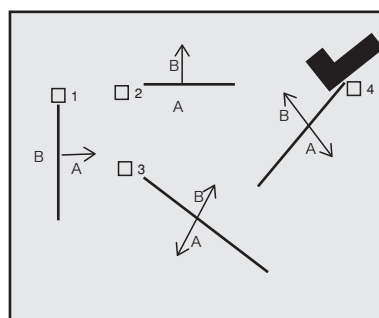
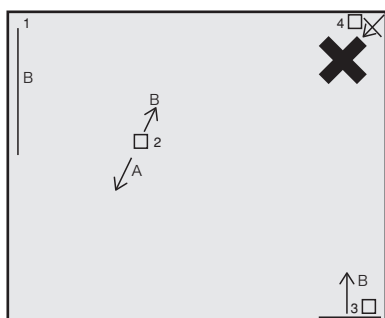
Rule Number	1	▼
Rule Switch	Enable	▼
Rule Type	A→B	▼
Remove		
Remove All		
Save		



1. Rule Number: LCD 行のいずれかを選択します。
描くことができる線は、最大 4 行です。
2. Rule Switch: ルールスイッチで検出を有効にする
3. Rule Type: ルールタイプを選択します。
A → B : NVR はサイド A からサイド B へのアクションのみを検出します。
B → A : NVR はサイド B からサイド A へのアクションのみを検出します。
A ⇔ B : NVR は、B 面から A 面へ、または A 面から B 面への動作を検出します。
4. マウスを使用して、カメラ画像の 2 つの点をクリックして仮想線を描きます。
5. [保存] をクリックして設定を保存します。
6. 行の位置や長さを変更する場合は、行の赤いボックスをクリックすると、
行の色が赤色に変わります。マウスの左ボタンを長く押して行を移動するか、
端子をドラッグして行の長さまたは位置を変更します。
7. カメラの画像から線の 1 つを削除する場合は、線の赤いボックスをクリックし、
[Remove] ボタンをクリックします。[Remove All] をクリックすると、
すべての行が削除されます。

通知：

- 1) ターゲットがカメラを通過したときにアラームをトリガーするのを避けるため、
ラインはカメラ画像の端にあまり近づけてはならない。
- 2) 標的が外に出たときに警報を発しないようにするには、線を短くしてはならない。



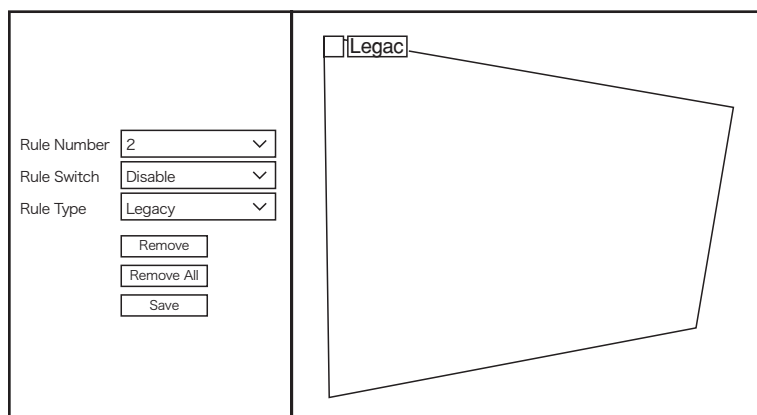
5.1.9.3 SOD(静止物体検知機能)

静止物体検出機能は、手荷物、財布、危険物などの予め定義された領域に残っている物体または紛失した物体を検出し、アラームが発せられたときに一連の動作を行うことができる。

The screenshot shows a configuration window titled '設定' (Settings) with a sidebar on the left containing the following items: Channel, ライブ (Live), イメージコントロール (Image Control), PTZ, モーション (Motion), ビデオオーバーレイ設定 (Video Overlay Settings), and Intelligent. The 'Intelligent' item is selected. The main panel displays settings for SOD (Static Object Detection) with the following options: Channel (CH1), スイッチ (Switch) set to '無効' (Disabled), ブザー (Buzzer) set to '無効' (Disabled), 感度 (Sensitivity) set to '2', Scene set to 'Indoor', エリア (Area) with a '設定' (Set) button, 録画継続時間 (Recording Duration) set to '30秒' (30 seconds), and several checkboxes: 'メッセージ表示' (Message Display) checked, 'Eメール送信' (Email Send) checked, '全画面表示' (Full Screen Display) unchecked, '録画チャンネル' (Recording Channel) checked, and four small square icons below it. At the bottom right of the main panel are 'デフォルト' (Default) and 'Apply' buttons.

- チャンネル : 設定するチャンネルを選択してください
- スイッチ : SOD 機能を有効または無効にする
- ブザー : 検出がトリガーされたときにブザーが 10,20,40、または 60 秒でアラーム音を鳴らすようにするかどうかを設定する
- 感度 : 感度レベルは 1 ～ 4 です。高感度であれば、検出をトリガーするのが容易になります。
- Scene : シーンの設定には、屋内と屋外が含まれます。カメラの設置場所に合わせてシーンを選んでください。
- Area : [設定] をクリックすると、カメラ画像に仮想領域が描画されます。
- 録画継続時間 : イベントが発生してから NVR が記録を続ける時間を設定できます。
- メッセージ表示 : SOD 機能がトリガーされると、文字 "S" が画面に表示されます。
- E メール送信 : アラームが発生すると、電子メールが設定されたメールアカウントに送信されます
- 全画面表示 : 検出がトリガーされると、チャンネルはフルスクリーンに拡大されます。
- 録画チャンネル : 検出がトリガーされたときに録画するチャンネルを選択します。

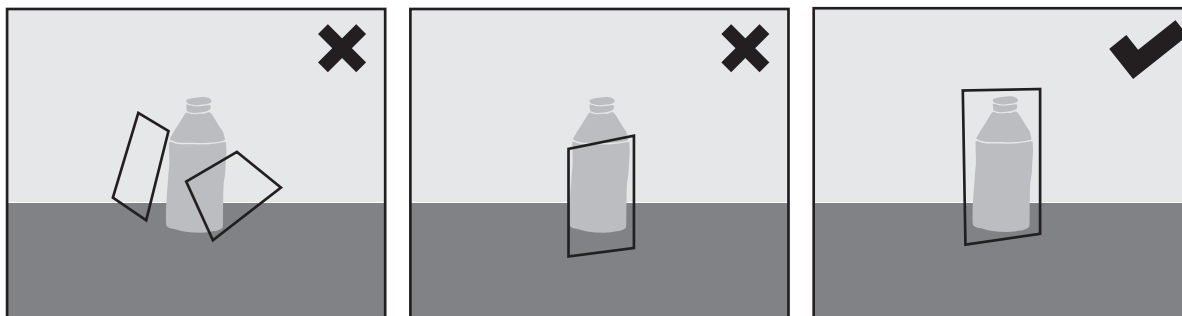
エリア（設定）ボタンを押すと下記設定画面が表示されます。



1. Rule Number: SOD 面積の数を選択します。
SOD 機能に設定できる最大 4 つのエリアです。
2. Rule Switch: ルールスイッチで検出を有効にする。
3. Rule Type: ルールタイプを選択する
Legacy : NVR は残留した物体のみを検出します。
Lost : NVR は失われた物体のみを検出します。
Legacy& Lost: NVR は、残留した物体と失われた物体の両方を検出します。
4. マウスを使用して、カメラ画像の 4 つの点をクリックして仮想領域を描画します。
領域の鮮明度は凸多角形でなければなりません。凹面多角形は保存できません。
5. [保存] をクリックして設定を保存します。
6. 領域のサイズを調整したい場合は、その領域の赤いボックスをクリックすると、領域の境界線が赤色に変わります。マウスの左ボタンを長く押して領域全体を移動するか、コーナーをドラッグして領域のサイズを変更します。
7. カメラ画像から領域の 1 つを削除する場合は、その領域内の赤いボックスをクリックし、「Remove」ボタンをクリックします。[Remove All] をクリックすると、すべての地域が削除されます。

通知：

- 1) 検出領域は、白いボトルの検出など、検出された物体のサイズ以上でなければなりません。
- 2) 検出された物体はカバーできません。



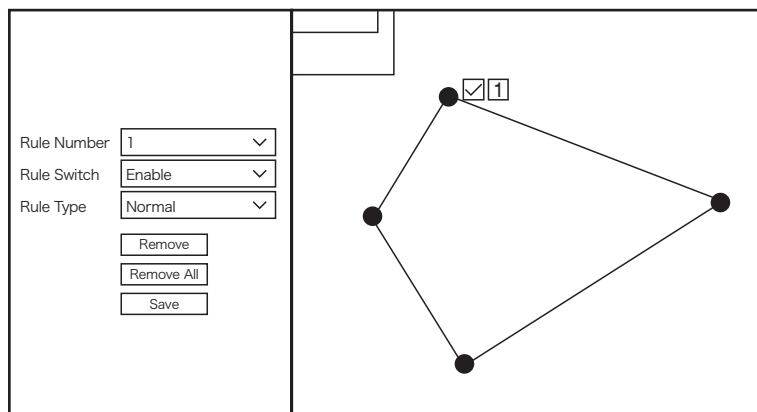
5.1.8.4 PD (歩行者検知機能)

歩行者検出機能は、あらかじめ定義された領域内の移動する人を検出し、アラームがトリガーされたときに一連のアクションを実行することができます。

The screenshot shows a software interface for configuring the PD (Pedestrian Detection) function. The main window is titled '設定' (Settings) and has several tabs: 'Channel', 'Record', '警報' (Alarm), 'Network', 'Device', and 'System'. The 'Channel' tab is selected, displaying various configuration options. On the left, there is a sidebar with expandable sections: 'Channel', 'ライブ' (Live), 'イメージコントロール' (Image Control), 'PTZ', 'モーション' (Motion), 'ビデオオーバー設定' (Video Overlay Settings), and 'Intelligent'. The main area contains settings for the PD function, including a dropdown for 'チャンネル' (Channel) set to 'CHI', a 'スイッチ' (Switch) set to '有効' (Enabled), a 'ブザー' (Buzzer) duration of '10秒' (10 seconds), a 'レベル' (Level) set to 'Middle', a 'Scene' set to 'Indoor', an 'エリア' (Area) button labeled '設定' (Settings), and a '録画継続時間' (Recording Continuation Time) set to '30秒' (30 seconds). Below these are checkboxes for 'メッセージ表示' (Message Display), 'Eメール送信' (Email Sending), '全画面表示' (Full Screen Display), and '録画チャンネル' (Recording Channel). At the bottom right, there are 'デフォルト' (Default) and 'Apply' buttons.

- チャンネル : 設定するチャンネルを選択する
- スイッチ : PD 機能を有効または無効にする
- ブザー : 検出がトリガーされたときに、ブザーが 10,20,40、
または 60 秒でアラーム音を発することを無効または有効にする
- レベル : HIGH・MIDDLE・LOW の遠距離の物体を検出するには、
小さなレベルをお勧めします。
短距離で物体を検出するには、大きなレベルをお勧めします。
- Scene : シーンの設定には、屋内と屋外が含まれます。
カメラの設置場所に合わせてシーンを選択してください。
- Area : [設定] をクリックすると、カメラ画像に仮想領域が描画されます。
- 録画継続時間 : イベントが発生してから NVR が記録を続ける時間を設定できます。
- メッセージ表示 : PD 機能がトリガーされると、文字 "S" が画面に表示されます。
- E メール送信 : アラームが発生すると、電子メールが設定されたメールアカウントに
送信されます
- 全画面表示 : 検出がトリガーされると、チャンネルはフルスクリーンに拡大されます。
- 録画チャンネル : 検出がトリガーされたときに録画するチャンネルを選択します。

エリア（設定）ボタンを押すと下記設定画面が表示されます。



1. ルール番号の 1 つを選択します。PD 領域の数です。
PD 機能に設定できる最大 4 エリアです。
2. ルールスイッチで検出を有効にする。
3. ルールタイプを選択し、この検出に使用可能な標準のみを選択します。
4. マウスを使用して、カメラ画像の 4 つの点をクリックして仮想領域を描画します。
領域の鮮明度は凸多角形でなければなりません。凹面多角形は保存できません。
5. [保存] をクリックして設定を保存します。
6. 領域のサイズを調整したい場合は、その領域の赤いボックスをクリックすると、
領域の境界線が赤色に変わります。マウスの左ボタンを長く押してリージョン全体
を移動するか、コーナーをドラッグしてリージョンのサイズを変更します。
7. カメラ画像からリージョンの 1 つを削除する場合は、そのリージョン内の赤いボック
スをクリックし、「Remove」ボタンをクリックします。[Remove All] をクリック
すると、すべての地域が削除されます。

通知：

- 1) 検出地域は、人が到達できない地域にあってはならない。
- 2) 検出された人々は、この地域に完全に囲まれている必要があります



5.1.8.5 FD (顔検出機能)

設定

Channel

Record

情報

Network

Device

System

チャンネル

ライブ

イメージコントロール

PTZ

モーション

ビデオカバー設定

Intelligent

PID

LCD

SOD

FD

FD

CC

Schedule

CC Statistics

チャンネル

スイッチ

レベル

エリア

録画継続時間

メッセージ表示

メール送信

全画面表示

録画チャンネル

ブザー

Scene

CH1

無効

Middle

設定

30秒

10秒

indoor

デフォルト

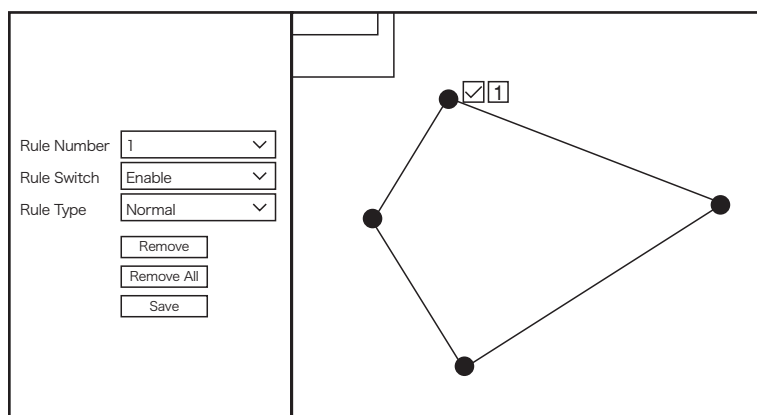
Apply

顔検出機能は、動く人々の顔があらかじめ定義された領域に現れることを検出し、アラームがトリガーされたときに一連のアクションを実行することができます。

- | | |
|-------|---|
| チャンネル | : 設定するチャンネルを選択する |
| スイッチ | : FD 機能を有効または無効にする |
| ブザー | : 検出がトリガーされたときに、ブザーが 10 秒、20 秒、40 秒、または 60 秒でアラームトーンを発することを無効または有効にする |
| レベル | : 大・中・小の遠距離の物体を検出するには、小さなレベルをお勧めします。
短距離で物体を検出するには、大きなレベルをお勧めします。 |
| Scene | : シーンの設定には、屋内と屋外が含まれます。
カメラの設置場所に合わせてシーンを選択してください。 |
| エリア | : 「設定」をクリックすると、カメラ画像に仮想領域が描画されます。 |

- 録画継続時間 : イベントが発生してから NVR が記録を続ける時間を設定できます。
- メッセージ表示 : インテリジェント検出がトリガーされたときは、
画面に文字「S」が表示されます。
- E メール送信 : アラームが発生すると、電子メールがプリセット
電子メールアカウントに送信されます
- 全画面表示 : 検出がトリガーされると、チャンネルはフルスクリーンに拡大されます。
- 録画チャンネル : 検出がトリガーされたときに録画するチャンネルを選択します。

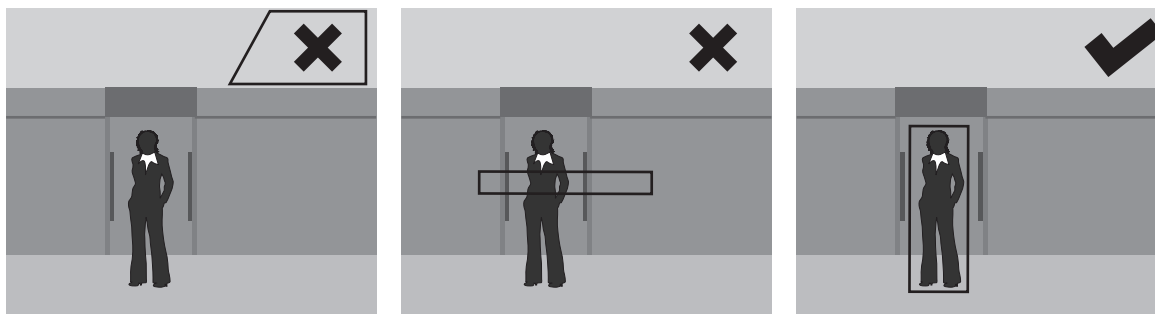
エリア（設定）ボタンを押すと下記設定画面が表示されます。



1. ルール番号のいずれかを選択します。FD エリアの数です。
FD 機能に設定できる最大 4 つの領域。
2. ルールスイッチで検出を有効にする
3. ルールタイプを選択し、この検出に使用可能な標準のみを選択します
4. マウスを使用して、カメラ画像の 4 つの点をクリックして仮想領域を描画します。
領域の鮮明度は凸多角形でなければなりません。凹面多角形は保存できません。
5. [保存] をクリックして設定を保存します。
6. 領域のサイズを調整したい場合は、その領域の赤いボックスをクリックすると、
領域の境界線が赤色に変わります。マウスの左ボタンを長く押してリージョン全体を移動するか、コーナーをドラッグしてリージョンのサイズを変更します。
7. カメラ画像からリージョンの 1 つを削除する場合は、そのリージョン内の赤いボックスをクリックし、「削除」ボタンをクリックします。[すべて削除] をクリックすると、すべての地域が削除されます。

通知：

- 1) 検出地域は、人が到達できない地域にあってはならない。
- 2) この領域には完全な前面が含まれている必要があります。



5.1.8.6 CC (クロスカウント機能)

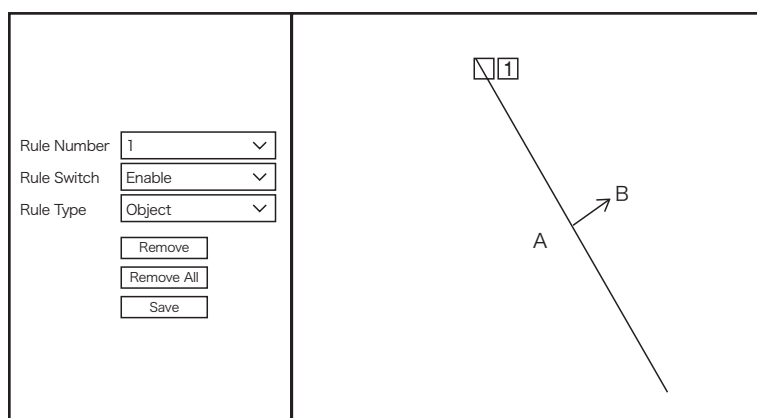
クロスカウント機能は、オブジェクトや人が仮想線を横切って移動する時間をカウントします

The screenshot shows a software interface for configuring the CC (Cross Count) function. The window is titled '設定' (Settings) and has tabs for 'Channel', 'Record', '警報' (Alarm), 'Network', 'Device', and 'System'. The 'Channel' tab is selected, and within it, the 'CC' sub-tab is active. The configuration options are as follows:

- チャンネル (Channel): CH1 (dropdown menu)
- スイッチ (Switch): 無効 (Disabled) (dropdown menu)
- ブザー (Buzzer): 無効 (Disabled) (dropdown menu)
- 感度 (Sensitivity): 2 (dropdown menu)
- Scene: Indoor (dropdown menu)
- エリア (Area): 設定 (Settings) (button)
- 録画継続時間 (Recording Continuation Time): 30秒 (30 seconds) (dropdown menu)
- メッセージ表示 (Message Display): ☐ (checkbox)
- Eメール送信 (Email Notification): ☒ (checkbox)
- 全画面表示 (Full Screen Display): ☒ (checkbox)
- 録画チャンネル (Recording Channel): ☒ (checkbox)

At the bottom right, there are buttons for 'デフォルト' (Default) and 'Apply'.

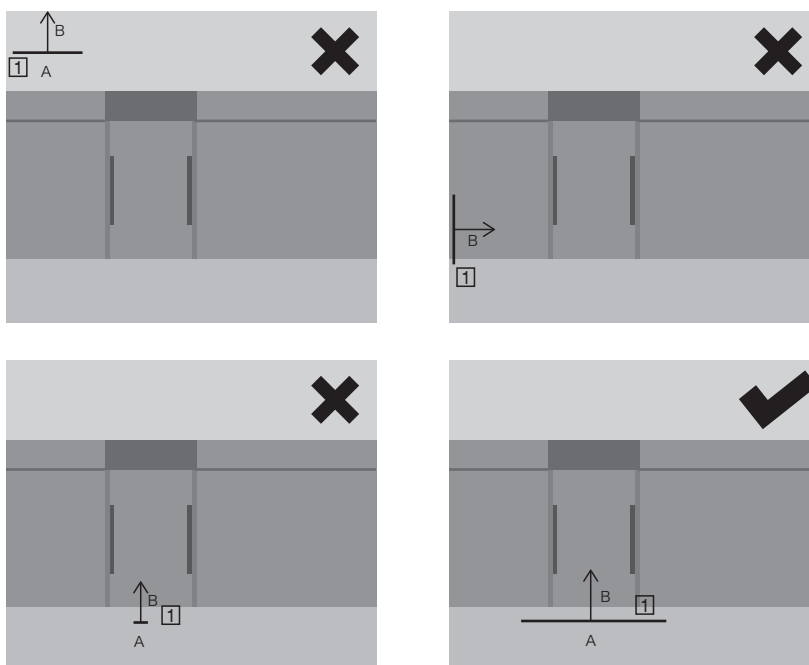
- チャンネル : 設定するチャンネルを選択する
- スイッチ : CC 機能を有効または無効にする
- ブザー : 検出がトリガーされたときに、ブザーが 10 秒、20 秒、40 秒、または 60 秒でアラームトーンを発することを無効または有効にする
- 感度 : 感度レベルは 1 ～ 4 で、デフォルト値は 2 です。
高感度であれば検出が容易になります。
- Scene : シーンの設定には、屋内と屋外が含まれます。
カメラの設置場所に合わせてシーンを選択してください。
- Area : [設定] をクリックすると、カメラ画像に仮想領域が描画されます。
- 録画継続時間 : イベントが発生してから NVR が記録を続ける時間を設定できます。
- メッセージ表示 : インテリジェント検出がトリガーされたときは、画面に文字「S」が表示されます。
- E メール送信 : ラームが発生すると、電子メールがプリセット電子メールアカウントに送信されます
- 全画面表示 : 検出がトリガーされると、チャンネルはフルスクリーンに拡大されます。
- 録画チャンネル : 検出がトリガーされたときに録画するチャンネルを選択します。



1. ルール番号のいずれかを選択します。 描くことができる仮想線の数です。 最大 4 行
2. ルールスイッチで検出を有効にする。
3. ルールタイプを選択する
Object : 動いているオ物体だけがカウントされます。
Pedestrian : 動いているオブジェクトだけがカウントされます。
4. マウスを使用して、カメラ画像の 2 つの点をクリックして仮想線を描きます。
サイド A からサイド B は Enter、サイド B からサイド A は Exit です。
5. [保存] をクリックして設定を保存します。
6. 行の位置や長さを変更する場合は、行の赤いボックスをクリックすると、
行の色が赤色に変わります。 マウスの左ボタンを長く押して行を移動するか、
端子をドラッグして行の長さまたは位置を変更します。
7. カメラの画像から線の 1 つを削除する場合は、線の赤いボックスをクリックし、
[削除] ボタンをクリックします。 [すべて削除] をクリックすると、
すべての行が削除されます。

通知:

- 1) ターゲットがカメラを通過したときにアラームをトリガーするのを避けるため、
ラインはカメラ画像のエッジにあまり近づけてはならない。
- 2) 線は、検出されたオブジェクトが到達できる領域になければなりません。
- 3) ターゲットが外に出たときに警報を発しないように、線は短く設定してはならない。



インテリジェント分析で、クロスカウン트의統計結果を検索して表示することができます。
参照：5.1.8.7

5.1.8.7 CC Statistics

設定

Channel Record 警報 Network Device System

Channel

ライブ

イメージコントロール

PTZ

モーション

ビデオカバー設定

Intelligent

PID LCD SOD PD FD CC Schedule CC Statistics

チャンネル CH1

Report Type Daily Report

Alarm Type Object

Cross Type Cross in

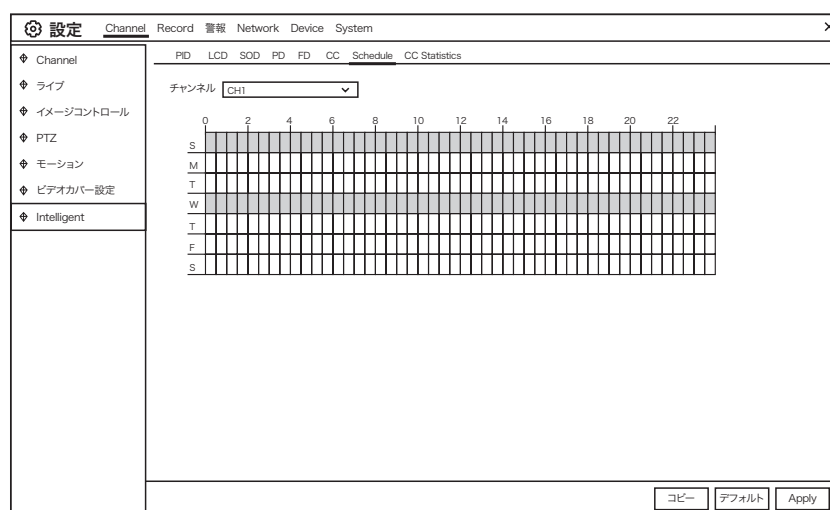
開始日 07/02/2018

検索

時	Count(Cross In)
00:00-00:59	1
01:00-01:59	2
02:00-02:59	65537

Cross In & Cross Out の統計結果は、日 / 週 / 月 / 年で照会することができます。

5.1.8.8 IntelligentSchedule



インテリジェント機能を有効にするには、スケジュールを設定する必要があります。スケジュールは 24 時間× 7 日間有効です。

スケジュールを設定するには、1 つのチャンネルを選択し、カーソルをドラッグしてスロットをマークします。タイムスロット内の空色のブロックは、インテリジェント検出のためにアクティブになります。スケジュールは、設定するたびに選択したチャンネルに対してのみ有効です。他のチャンネルで同じスケジュールを使用する場合は、コピー機能を使用します。[保存] をクリックして設定を保存します。

5.2 録画

録画に関する設定をします。

5.2.1 Encode

録画ビデオまたはネットワーク伝送の画質を設定できます。一般的に、メインストリームは、HDD に保存される録画画像の画質を定義します。サブストリームは、Web クライアントや CMS などのリモートアクセスを介して表示されているビデオ品質を定義します。モバイルストリームは、モバイルデバイス経由でリモートアクセスを介して視聴されている画像の画質を定義します。

The screenshot shows the 'Record' settings page in an NVR interface. The left sidebar has '録画設定' (Recording Settings) selected. The main area is titled 'メインストリーム サブストリーム モバイルストリーム' (Main Stream Sub Stream Mobile Stream). Under 'Main Stream', there are dropdown menus for 'チャンネル' (Channel), '解像度' (Resolution), 'FPS', 'Video Encode Type', 'Bitrate Control', 'ビットレートモード' (Bitrate Mode), 'ビットレート' (Bitrate), and '音声' (Audio). The 'CH1' row shows settings: Resolution 3840x2160, FPS 15, Video Encode Type H.265, Bitrate Control CBR, Bitrate Mode 既定モード (Predefined Mode), Bitrate 5144, and Audio checked. At the bottom, a status bar shows '合計/バンド幅: 50Mbps, 使用/バンド幅: 15.481Mbps' and an 'Apply' button.

- 解像度 : 記録される画像の大きさを定義します。
- FPS : NVR が記録する 1 秒あたりのフレーム数を定義します。
- Video Encode Type : NVR は H.264 及び H.265 を選択します。
- Bitrate Control : ビットレートレベルを選択します。灰色の壁などの単純なシーンでは、適切な定ビットレート (CBR) が適しています。動きの多い通りなどのより複雑なシーンでは、適切な可変ビットレート (VBR) が適しています。
- ビットレート モード : 自分でビットレートを設定する場合は、[ユーザー定義モード] を選択します。定義済みのビットレートを選択する場合は、事前定義モードを選択します。
- ビットレート : NVR がビデオの記録に使用するデータ転送の速度に対応します。より高いビットレートでエンコードされたレコーディングは、より良い品質になります。
- 音声 : 音声の有効 / 無効

5.2.2 録画設定

各カメラの録画設定が行えます。

5.2.2.1 録画

チャンネル	録画	ストリームモード	プリーレコード
CH1	☒	メインストリーム	☒
CH2	☒	メインストリーム	☒
CH3	☒	メインストリーム	☒
CH4	☒	メインストリーム	☒

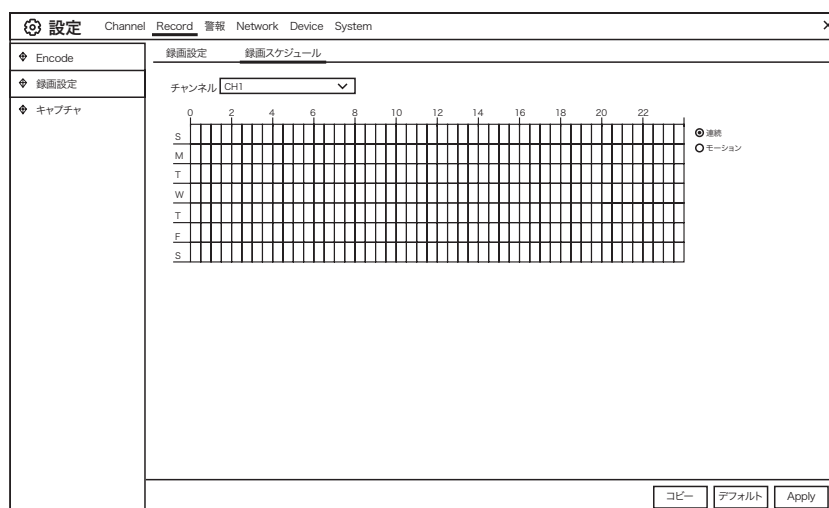
録画 : チェックを入れ、各チャンネルで録画を有効にします。

ストリームモード : 録音品質を選択します。DualStream を選択すると、システムはメインストリームとサブストリームの両方に録画します。

プリーレコード : このオプションを有効にすると、NVR はアラームイベントが発生する数秒前に録画を開始します。
プライマリ録画タイプがモーション録画場合は、このオプションを使用します。

5.2.2.2 録画スケジュール

NVR がビデオを記録するタイミングを指定し、各チャンネルの記録モードを定義します。録画スケジュールでは、通常（連続）録画、モーション録画、など、毎日、毎時などのスケジュールを設定できます。録画スケジュールは 1 つのチャンネルに対してのみ有効です。他のチャンネルで同じ録画スケジュールを使用する場合は、コピー機能を使用します。[Apply] をクリックして設定を保存します。

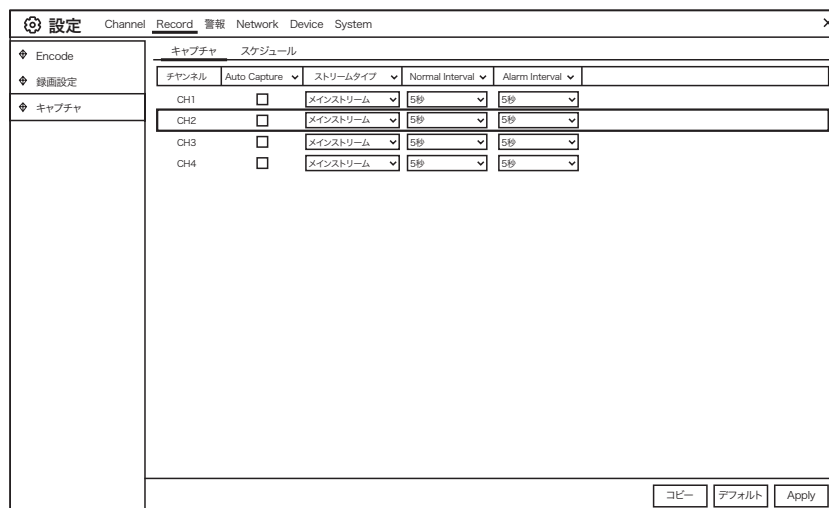


- チャンネル : 録音スケジュールを設定するチャンネルを選択します。
- 連続 : 連続録画を選択すると、タイムスロットが緑色にマークされます。
- モーション : モーション録画（動体検知）を選択すると、
タイムスロットが黄色にマークされます。
- No Record : 録画しない場合、黒色で表示されます。

5.2.3 キャプチャー

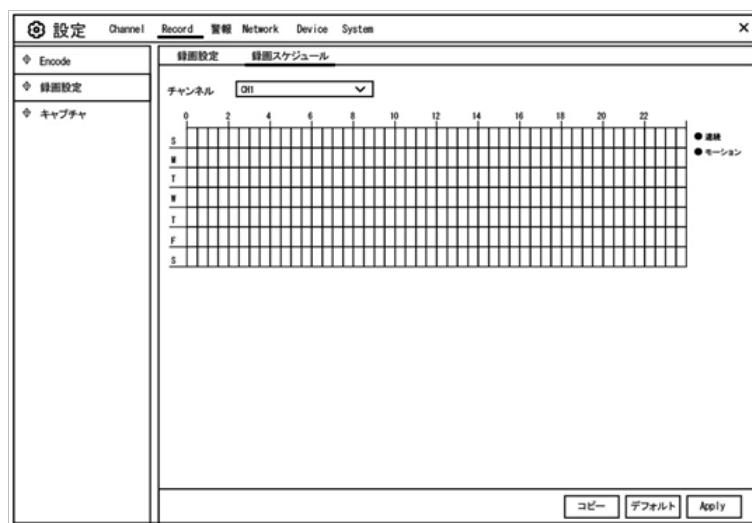
このメニューでは、画像キャプチャー機能を設定できます。

5.2.3.1 キャプチャー



- Auto Capture : チャンネルの自動キャプチャーを有効または無効にします。
- ストリームチャンネル: メインストリームまたはサブストリームによる画像解像度を
選択します。
- Normal Interval : 通常の録画で画像をキャプチャーする時間間隔。
- Alarm Interval : 動き、PIR がトリガーされたときに画像をキャプチャーする時間間隔

5.2.3.2 キャプチャスケジュール



チャンネル : キャプチャーを設定するチャンネルを選択します。

連続 : 連続キャプチャーを選択すると、タイムスロットが緑色にマークされます。

モーション : モーションキャプチャー（動体検知）を選択すると、
タイムスロットが黄色にマークされます。

No Record : 録画しない場合、黒色で表示されます。

5.3 アラーム

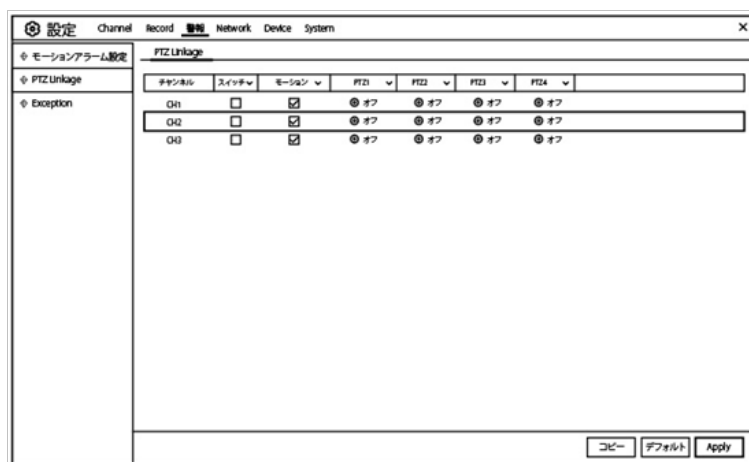
これらのセクションでは、アラームパラメータを設定できます。

5.3.1 モーションアラーム設定

5.1.5 モーションを参照願います。（同じ動作です）

5.3.2 PTZLinkage

PTZ カメラを接続していれば、PTZ カメラとモーションアラームのリンクを設定できます。 リンケージ機能を使用すると、モーションが発生したときに PTZ カメラの焦点をプリセットポイントに合わせることができます。



スイッチ : PTZ リンケージ機能を有効または無効にします。

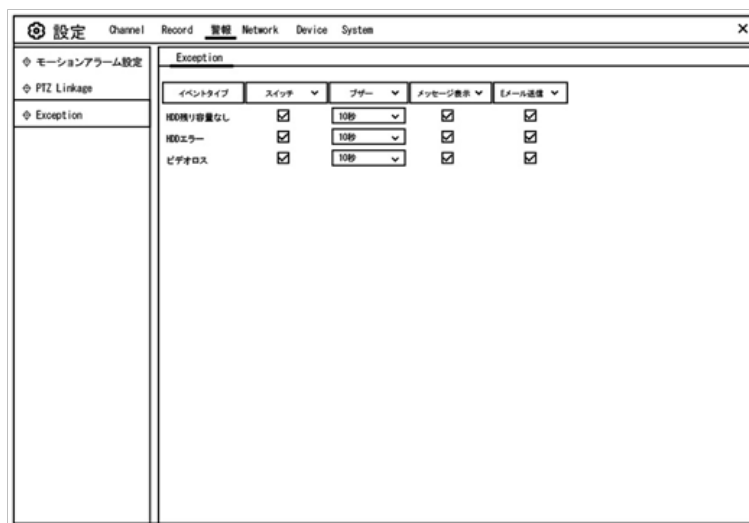
モーション : モーション検知アラームは PTZ リンケージ機能をトリガーします。

PTZ :  アイコンをクリックすると、PTZ カメラがプリセットポイントに関連付けられます。

プリセットポイントを 5.1.4.1 PTZ コントロールで表示します。

5.3.2 Exception

このメニューでは、NVR に通知するイベントの種類を設定できます。



イベントタイプ : 以下のオプションからイベントタイプを選択してください :

HDD 残り容量無し : HDD が一杯になったとき。

HDD エラー : HDD が正しく検出されない場合。

ビデオロス : カメラが正しく接続されていない場合。

スイッチ : チェックボックスをオンにすると、イベントの監視が有効になります。

ブザー : イベント発生時のブザー時間を設定します
(オフ / 10 秒 / 20 秒 / 40 秒 / 60 秒) 。

ブザーを無効にするには、OFF を選択します。

メッセージ表示：ディスクに空き領域がない、ディスクエラーまたはビデオ損失イベントが発生した場合は、このボックスをチェックして、画面にメッセージを表示します。

E メール送信：イベントが発生したときに NVR に自動メールを送信させてください。

5.4 Network

このメニューでは、PPPoE、DHCP などのネットワークパラメータを設定できます。最も一般的なタイプは DHCP です。インターネットユーザー名とパスワードが必要な場合は、[PPPoE] を選択します。

5.4.1 全般的設定

全般的設定	
DNS	
Email	
FTP	

Port Configuration	
Internal Interface	
DHCP ☐	
IPアドレス	192.168.000.000
サブネットマスク	255.255.000.001
ゲートウェイ	192.168.000.002
DNS1	192.168.000.001
DNS2	000.000.000.000

Port Configuration	
IPアドレス	000.168.000.000
サブネットマスク	255.255.000.000

DHCP を使用できるルーターに接続する場合は、DHCP ボックスをチェックしてください。ルーターは NVR のすべてのネットワークパラメータを自動的に割り当てます。

IP アドレス：IP アドレスは、ネットワーク内の NVR を識別します。

ピリオドで区切られた 0 ~ 255 の 4 つの数字のグループで構成されています。たとえば、"192.168.001.100" となります。

サブネットマスク：サブネットマスクは、ネットワークで使用する IP アドレスの範囲を定義するネットワークパラメータです。サブネットアドレスは、ピリオドで区切られた 4 つの数字のグループで構成されています。たとえば、"255.255.000.000" となります。

ゲートウェイ：このアドレスにより、NVR はインターネットにアクセスできます。ゲートウェイアドレスの形式は IP アドレスと同じです。たとえば、"192.168.001.001" となります。

DNS1/DNS2：DNS1 はプライマリ DNS サーバーで、DNS2 はバックアップ DNS サーバーです。通常、DNS1 サーバーのアドレスを入力するだけで十分です。

5.4.4.1 PPPoE

NVR が DSL モデム経由でネットワークに直接接続できるようにする高度なプロトコルです。

[PPPoE を有効にする] チェックボックスをオンにして、PPPoE のユーザー名とパスワードを入力します。[Apply] をクリックして保存すると、PPPoE 設定を有効にするためにシステムが再起動します。

5.4.1.3 Port Configuration

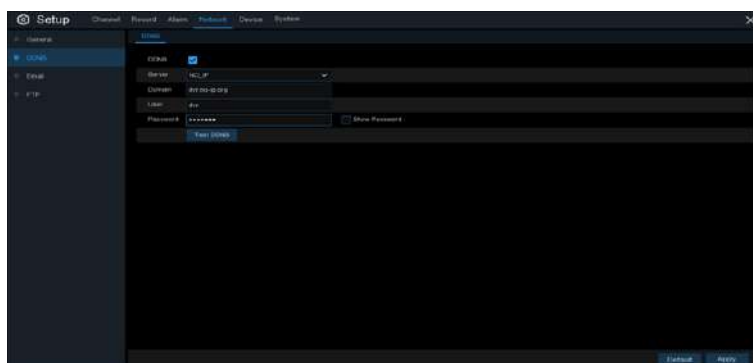
- Web Port : NVR にリモートでログインするために使用するポートです (Web クライアントなど)。既定のポート 80 が既に他のアプリケーションによって使用されている場合は、変更してください
- クライアントポート : NVR が情報を送信するために使用するポートです。既定のポート 9000 が既に他のアプリケーションによって使用されている場合は、変更してください。
- RTSP ポート : デフォルトのポート 554 が既に他のアプリケーションによって使

UPNP

用されている場合、変更してください。デフォルトは 554 です
: Web Client を使用して NVR にリモートログインする場合は、ポート転送を完了する必要があります。ルーターが UPnP をサポートしている場合は、このオプションを有効にします。NVR とルーターの両方で UPnP を有効にする必要があります。この場合、ルーターでポート転送を手動で設定する必要はありません。ルーターが UPnP をサポートしていない場合は、ポート転送が手動で完了していることを確認してください

5.4.2 DDNS

DDNS 設定を行うことができます。DDNS は静的アドレスを提供し、NVR へのリモート接続を簡素化します。DDNS を使用するには、まず DDNS サービスプロバイダの Web ページでアカウントを作る必要があります。



- DDNS : DDNS を有効にする場合にオンにします。
- サーバー : DDNS サーバー (DDNS_3322、DYNDNS、NO_IP、CHANGEIP、DNSEXIT) を選択します。
- ドメインネーム : DDNS サービスプロバイダの Web ページで作成したドメイン名を入力します。これは、PC 経由で NVR にリモート接続するときに URL ボックスに入力するアドレスになります。
例 : NVR.no-ip.org
- ユーザー名 / パスワード : DDNS サービスプロバイダの Web ページでアカウントを作成する際に取得したユーザー名とパスワードを入力します。
すべてのパラメータを入力したら、「DDNS のテスト」をクリックして DDNS 設定をテストします。
- テスト結果が「Network is unreachable or DNS is incorrect」の場合、ネットワークが正常に動作しているか、DDNS 情報が正しいかどうかを確認してください。

5.4.3 Email

このメニューでは電子メールの設定を行うことができます。 アラームが発生したり、HDD がいっぱいになったり、HDD がエラー状態になったり、ビデオロスが発生したりすると、電子メールでシステム通知を受信したい場合は、これらの設定を完了してください。

The screenshot shows the 'Email Configuration' window. On the left is a sidebar with navigation links: '設定' (Settings), 'Channel', 'Record', '監視' (Monitoring), 'Network', 'Device', and 'System'. Under '設定', there are sub-links for '全般' (General), 'Email', and 'FTP'. The main area is titled 'Email Configuration' and 'Eメール送信' (Email Sending). It contains several input fields: 'Email' (checkbox), 'Encryption' (dropdown menu set to 'Auto'), 'SMTPポート' (SMTP Port) set to '00005', 'SMTPサーバ' (SMTP Server), 'ユーザー名' (Username), 'パスワード' (Password) with a 'Show Password' checkbox, 'メール送信者' (Email Sender), '送信者アドレス1' (Sender Address 1), '送信者アドレス2' (Sender Address 2), '送信者アドレス3' (Sender Address 3), and '間隔' (Interval) set to '30分' (30 minutes). At the bottom is a '試験メール' (Test Email) button.

5.4.3.1 Email Configuration

This is an identical screenshot to the one above, showing the 'Email Configuration' window with the same fields and settings.

- Email : オンにして有効にします。
- Encryption : 電子メールサーバーで SSL または TLS の検証が必要な場合に有効にします。わからない場合は、Auto に設定します。
- SMTP ポート : 電子メールサーバーの SMTP ポートを入力します。
- SMTP サーバー : 電子メールの SMTP サーバーアドレスを入力します。
- ユーザー名 : メールアドレスを入力してください。

パスワード : あなたの電子メールのパスワードを入力してください。

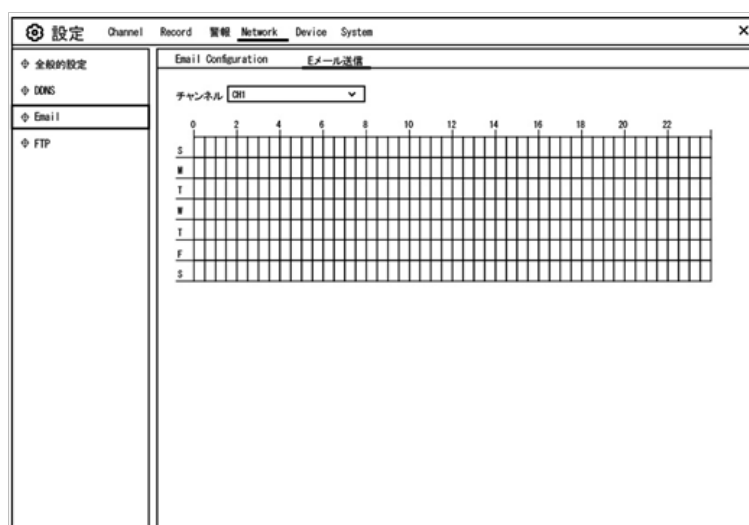
受信者 1~3 : NVRからイベント通知を受信する電子メールアドレスを入力します。

間隔 : NVRからの通知メール間の時間間隔の長さを設定します。

すべての設定が正しいことを確認するには、[試験メール]をクリックします。システムによって、受信トレイに自動化された電子メールメッセージが送信されます。テスト電子メールを受け取った場合は、設定パラメータが正しいことを意味します。

5.4.3.2 Email Schedule

電子メール通知を完全に実装するようにスケジュールを設定する必要があります。



電子メールスケジュールのカラーコードの意味は次のとおりです。

緑：モーション検出のためのスロット。

赤：例外のためのスロット（HDD フル、HDD エラー、またはビデオ損失）。

青：インテリジェント分析検出のためのスロット。

5.4.4 FTP

FTP 機能を使用して、キャプチャーしたスナップショットを FTP 経由で NVR から読み込むことができます。

The screenshot shows a software window titled '設定' (Settings) with tabs for 'Channel', 'Record', '警報' (Alarm), 'Network', 'Device', and 'System'. The 'Network' tab is selected, and the 'FTP' sub-tab is active. On the left, a sidebar lists configuration categories: '全般の設定' (General Settings), 'DNS', 'Email', and 'FTP'. The main area contains the following fields: an 'FTP' checkbox, a 'サーバー IP' (Server IP) text box, a 'ポート' (Port) text box with '00021' entered, a 'ユーザー名' (Username) text box, a 'パスワード' (Password) text box with a 'Show Password' checkbox to its right, and a 'Dir Name' text box. Below these fields is an 'FTP TEST' button. At the bottom right of the window are 'デフォルト' (Default) and 'Apply' buttons.

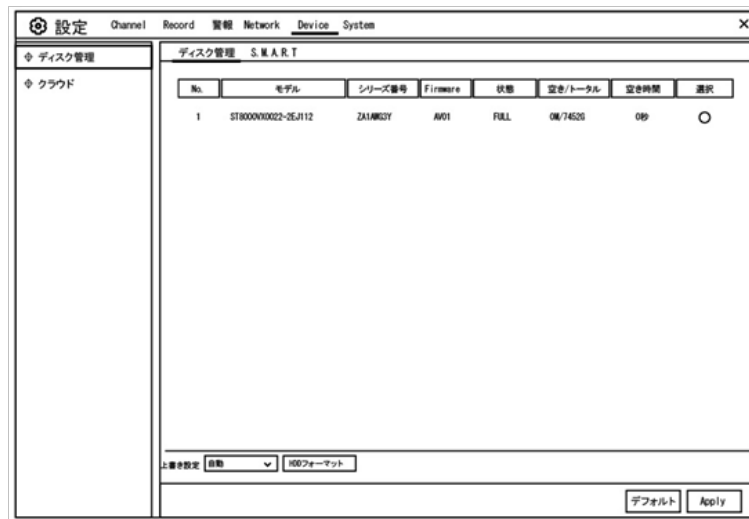
- FTP : FTP 機能を有効にする場合にクリックします。
- サーバー IP : FTP サーバーの IP アドレスまたはドメイン名を入力します。
- ポート : ファイル交換の FTP ポートを入力します。
- ユーザー名 / パスワード : FTP サーバーのユーザー名とパスワードを入力します。
- Directory Name : FTP ファイル交換のデフォルトのディレクトリ名を入力します。
- Test FTP : クリックして FTP 設定をテストします。

5.5 Device

このセクションでは、内蔵 HDD 機能を設定することができます。

5.5.1 ディスク管理

内蔵 HDD のチェックと設定ができます。新しい HDD を交換する場合、最初の起動時にのみ HDD をフォーマットする必要があります。

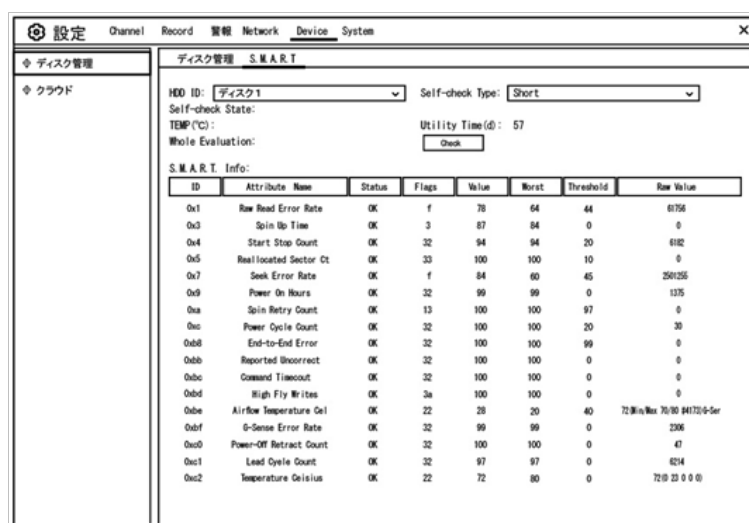


HDD フォーマット: フォーマットする HDD を選択し、【HDD フォーマット】をクリックします。フォーマットを開始するには、ユーザー名とパスワードを入力し、OK をクリックしてフォーマットを続行する必要があります。

上書き設定 : このオプションを使用すると、HDD がいっぱいになったときに古い録画を上書きすることができます。

5.5.1.1 S.M.A.R.T

この機能を使用して、NVR 内部にインストールされたハードドライブに技術情報を表示することができます。潜在的なドライブエラーを評価および検出するためのテスト（使用可能な 3 つのタイプがあります）も実行できます。



Self-check Type: 使用可能なタイプは 3 つあります。

- Short : 読取 / 書込ヘッド、電子機器、内蔵メモリーなどのハードドライブの主要コンポーネントを検証します。
- Long : 問題のある領域（存在する場合）を明らかにするために表面スキャンを実行し、不良セクタの再配置を強制する長いテストです
- Conveyance : ハードドライブの機械部品が動作していることを確認する非常に簡単なテストです。

注：テストを実行するとき、NVR は通常通り動作します。 HDD S.M.A.R.T エラーが検出された場合、HDD は引き続き使用できますが、記録データを失う危険があります。 新しい HDD を交換することをお勧めします。

クラウド

本製品はクラウドに対応していません

5.6 System

日付、時間、地域などの一般的なシステム情報の変更、パスワードと権限の編集など設定

5.6.1 全般的な設定

- デバイス名 : NVR の名前を入力します。名前には、文字と数字の両方を含めることができます。
- デバイス ID : NVR の ID を入力します。デバイス ID は、NVR を識別するために使用され、数値でしか構成できません。たとえば、2 つの NVR が同じ場所にインストールされ、1 つの NVR のデバイス ID は 000000、別の NVR のデバイス ID は 111111 です。リモートコントローラーで NVR を操作したい場合は、両方の NVR がコントローラーからの信号を受信することがあります

- 同時間。ID 111111 の NVR のみを制御したい場合は、リモートコントローラーを使用してログインページにデバイス ID 111111 を入力して操作できます
- 言語 : システムメニューを表示する言語を選択します。複数の言語から使用できます。
- ビデオ形式 : NTSC 選択してください。
- メニュータイムアウト: ドロップダウンメニューをクリックして、メインメニューを非表示にする時間を選択します。「オフ」を選択することで無効にすることもできます（パスワード保護は一時的に無効になります）。
- Show Wizard : NVR をオンまたは再起動するたびに起動ウィザードを表示する場合は、チェックボックスをクリックします。

5.6.1.1 Dateand Time

Date&Time

- Date : カレンダーアイコンをクリックして日付を変更します。
- Time : 時間を変更するには、ダイアログボックスをクリックします。
- Date Format: 希望の日付形式を選択します。
- Time Format: 希望の時刻形式を選択します。
- Time Zone : あなたの地域や都市に関連するタイムゾーンを選択してください。
(日本は GMT+09 : 00)

5.6.1.2 NTPSettings

NTP（Network Time Protocol）機能を使用すると、NVR は自動的に時計をタイムサーバーと同期させることができます。これにより、常に正確な時刻設定を行うことができます（NVR は定期的に自動的に同期します）。



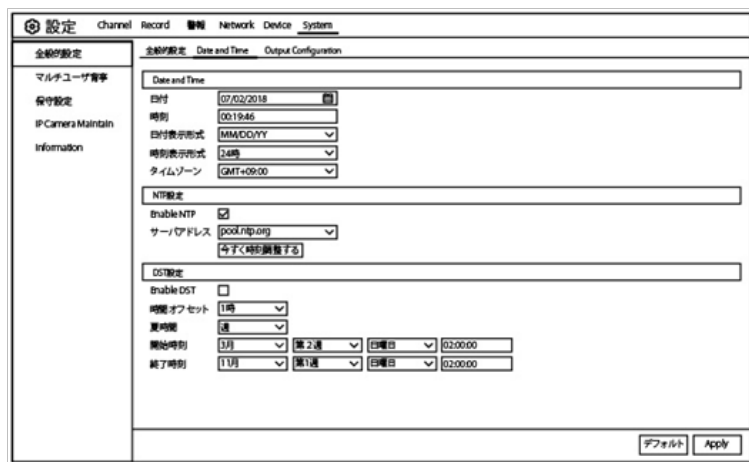
NTP を有効にする場合はオンにし、サーバーアドレスを選択したら、[今すぐ更新] をクリックして手動で日付と時刻を同期させます。

[Apply] をクリックして設定を保存します。

NTP 機能が有効になっていると、システムはシステム時刻を 00:07:50 に更新するか、システムが起動するたびに更新されます。

5.6.1.3 DST Settings

DST（夏時間）機能では、夏時間が特定の時間帯または地域で増加した時間を選択できます。



Enable DST : 夏時間の保存がタイムゾーンまたは地域に適用される場合は、このオプションをオンにして有効にします

Time Offset : あなたのタイムゾーンでサマータイムが増加した時間を選択します。これは、協定世界時（UTC）と現地時間の差を分単位で表したものです。

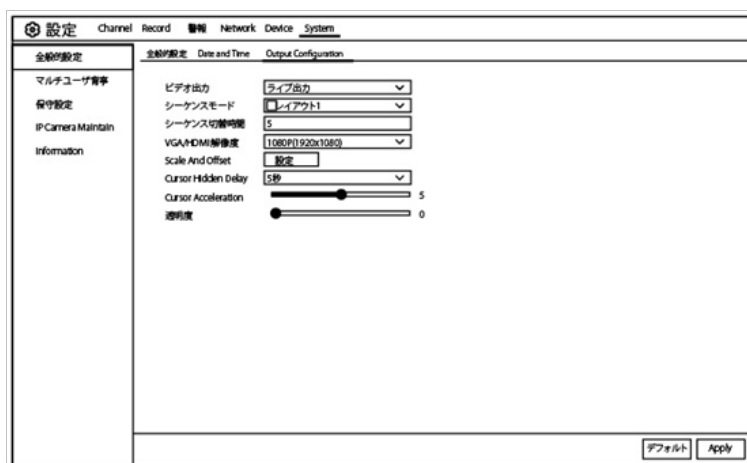
Enable DST : 夏時間の開始と終了方法を選択できます：

Week : 月、夏時間の開始と終了を行う特定の曜日と時刻を選択します。たとえば、特定の月の第 1 日曜日の午前 2 時です。

Date : 開始日（カレンダーアイコンをクリック）、
夏時間の開始と終了の終了日時を選択します。
Start Time / End Time: 夏時間の開始時刻と終了時刻を設定します。

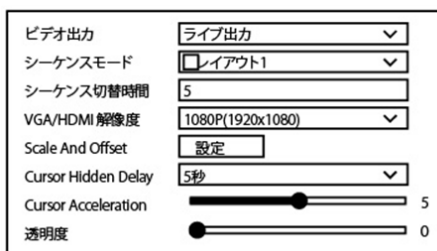
5.6.2 OutputConfiguration

ビデオ出力パラメータを設定できます。



Video Output : 出力オプションを選択する
LIVE-OUT : は、メイン出力パラメータの設定に使用されます。

5.6.2.1 LIVE-OUT



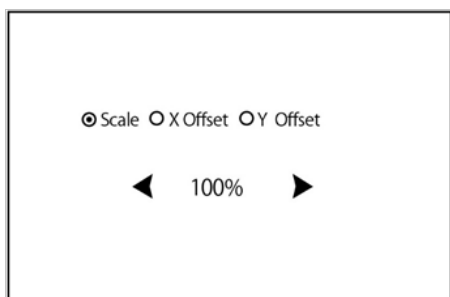
Video Output ドロップダウンメニューから LIVE-OUT を選択します。

SEQ Mode : NVR がシーケンスモードのときに表示するビデオチャンネルの
数を選択します。

SEQ Dwell Time : 次のビデオチャンネルを表示する前にシーケンスモードでビデオ
チャンネルを表示する最大時間を秒単位で入力します
(最大 300 秒)。

Output Resolution : テレビに適したディスプレイ解像度を選択してください。
1920×1080 はほとんどのテレビに適しています。
NVR が 4K の出力解像度をサポートしている場合は、
2K (2560×1440) または 4K (3840×2160) のいずれか
を選択して、4K テレビが提供する高解像度を利用できます。

Scale and Offset : NVR は、モニターまたはテレビに合わせてディスプレイ画面のサイズと位置を調整することをサポートしています。
[設定] ボタンをクリックして調整します。



スケール : 表示される画面のサイズをスケールで調整します。

X オフセット: 表示された画面を左右に移動します。

Y オフセット: 表示された画面を上下に移動します。

一度クリックするか、マウスの左ボタンを長押ししてサイズと位置を調整するか、マウスホイールをスクロールして調整します。マウスの右ボタンをクリックして終了し、「Apply」をクリックして変更を保存します。

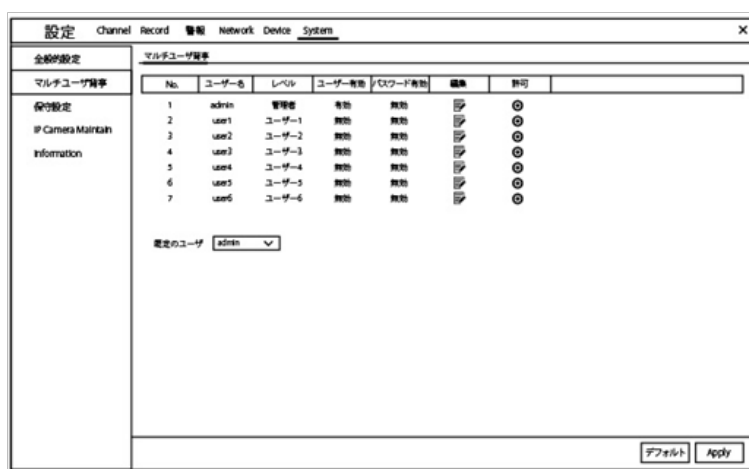
Cursor Hidden Delay : ドロップダウンメニューをクリックして、アイドル時に NVR がマウスカーソルを非表示にする時間を選択します。
「OFF」を選択することで無効にすることもできます
(パスワード保護は一時的に無効になります)。

Cursor Acceleration : 速度を調整してマウスカーソルを移動する。

Transparency : メニューバーとメインメニューが画面上でどのように透明に表示されるかを変更するには、スライダを左右にクリックしたままにします。 それに従って調整してください。

5.6.3 マルチユーザー

ユーザー名、パスワード、およびユーザー権限を構成できます。



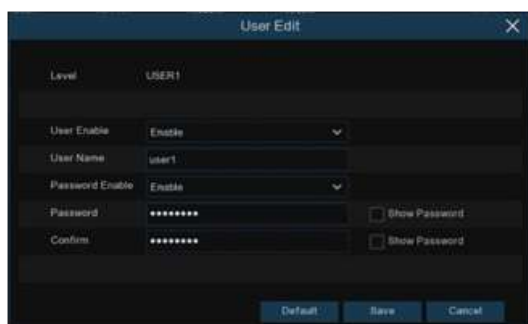
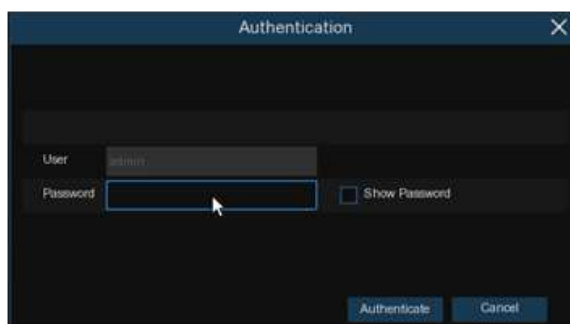
システムは、以下の勘定タイプをサポートしています。

ADMIN — System Administrator : 管理者はシステムを完全に制御し、管理者パスワードとユーザーパスワードの両方を変更し、パスワード保護を有効 / 無効にすることができます。

USER — Normal User : ユーザーはライブ視聴、検索、再生などの機能にのみアクセスできます。システムへのさまざまなアクセスレベルで複数のユーザーアカウントを設定することができます。

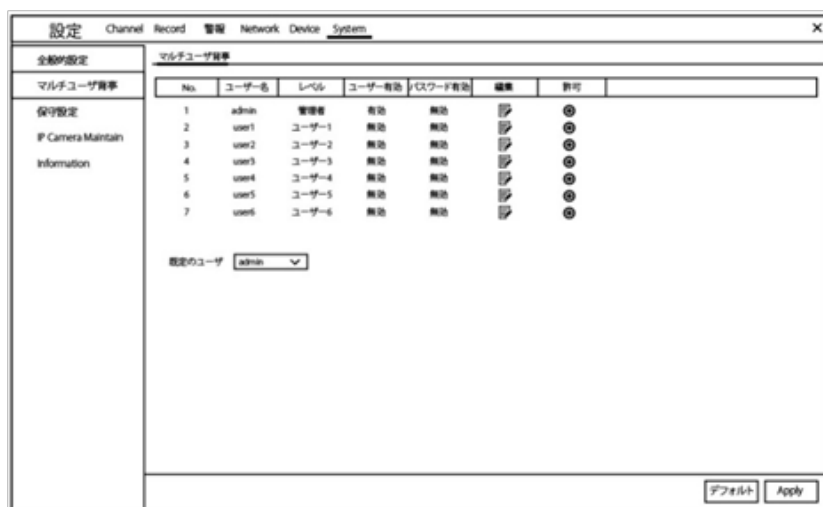
5.6.3.1 パスワード変更

管理者またはユーザーアカウントのパスワードを変更するには、[編集]アイコンをクリックします。パスワードは8文字以上でなければならず、数字と文字の混在が可能です。新しいパスワードをもう一度入力して確認し、[保存]をクリックして新しいパスワードを保存します。認証のために古いパスワードを入力する必要があります。

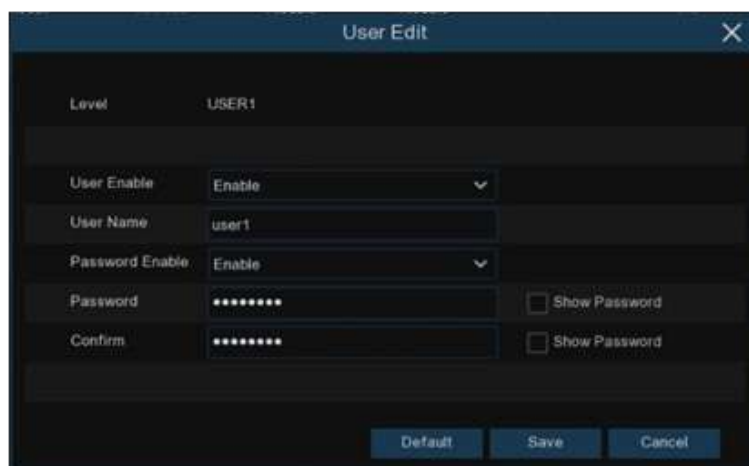
A dark-themed dialog box titled "User Edit" with a close button (X) in the top right corner. It contains a table with two columns: "Level" and "USER1". Below the table are several input fields: "User Enable" (a dropdown menu set to "Enable"), "User Name" (a text field containing "user1"), "Password Enable" (a dropdown menu set to "Enable"), "Password" (a masked text field with asterisks), "Confirm" (another masked text field with asterisks), and two checkboxes labeled "Show Password". At the bottom are three buttons: "Default", "Save", and "Cancel".A dark-themed dialog box titled "Authentication" with a close button (X) in the top right corner. It contains two input fields: "User" (a text field containing "admin") and "Password" (a masked text field with asterisks). To the right of the "Password" field is a checkbox labeled "Show Password". At the bottom are two buttons: "Authenticate" and "Cancel".

パスワード有効：プライバシーを保護するためにパスワードを有効にすることを強くお勧めします。もしパスワード保護を無効にする場合は、NVR が安全な場所に設置されていることを確認してください。

5.6.3.2 ユーザーの追加



1. 現在無効になっているユーザーアカウントの 1 つを選択し、ユーザー編集アイコンをクリックします .



2. User Enable の横にあるドロップダウンから Enable を選択します。
3. ユーザー名の横にあるフィールドをクリックして、アカウントのユーザー名を変更します。
4. [パスワード有効] の横にあるドロップダウンから [有効] を選択します。
5. [パスワード] の横にあるフィールドをクリックして、必要なパスワードを入力します。
6. [確認] の横にあるフィールドをクリックして、パスワードを再入力します。
7. [UnlockPattern Enable] 有効を選択します。DREW アイコンを押し、ジェスチャーパターンを作成できます。
8. [保存] をクリックします。認証するには管理者パスワードを入力する必要があります。

5.6.3.3 Setting UserPermissions

管理者アカウントは、すべてのシステム機能を完全に制御できる唯一のアカウントです。各ユーザーアカウントの特定のメニューや機能へのアクセスを有効または無効にすることができます。

Multi-User						
No.	User Name	Level	User Enable	Password Enable	User Edit	Permission
1	admin	ADMIN	Enable	Enable		
2	user1	USER1	Enable	Enable		
3	user2	USER2	Disable	Disable		
4	user3	USER3	Disable	Disable		
5	user4	USER4	Disable	Disable		
6	user5	USER5	Disable	Disable		
7	user6	USER6	Disable	Disable		

Default User: admin

1. [権限] タブの編集  アイコンをクリックします。

User Permission

User Name: user1

☒ Log Search

☒ Parameter

☒ Maintain

☒ Manual Record

☒ Disk

☒ Remote Login

☒ BEQ Control

☒ Manual Capture

☒ Backup

☒ Analog Channels

1 2 3 4 5 6 7 8

☒ IP Camera

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

☒ Live

☒ Analog Channels

1 2 3 4 5 6 7 8

☒ IP Camera

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

☒ Playback

☒ Analog Channels

1 2 3 4 5 6 7 8

☒ IP Camera

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

☒ PTZ

☒ Analog Channels

1 2 3 4 5 6 7 8

☒ IP Camera

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

All

Clear

Save

Cancel

2. ユーザーがアクセスするシステムメニューまたは機能の横にあるチェックボックスをオンにします。すべてのボックスをチェックするには、[すべて]をクリックします Clear をクリックして、いずれのボックスもチェックしないでください。
3. [保存] をクリックして変更内容を保存します。

5.6.4 保守設定

このセクションでは、システムログの検索と表示、デフォルト設定のロード、システムのアップグレード、システムパラメータのエクスポートとインポート、マネージャーシステムの自動リブートが可能です。

チャンネル	タイプ	詳細	内容	状態	再生
-------	-----	----	----	----	----

5.6.4.1 Log

システムログには、モーションアラームやシステム警告などの重要なシステムイベントが表示されます。設定した期間、システムログのバックアップファイルを USB フラッシュドライブに簡単に作成できます。

チャンネル	タイプ	時刻	内容	状態	再生
C311	Alarm	04/07/2018 00:36:52	Motion Start	Yes	🔍
C311	Alarm	04/07/2018 00:40:32	Motion Start	Yes	🔍
C313	Alarm	04/07/2018 01:36:52	Motion Start	Yes	🔍
C314	Alarm	04/07/2018 02:46:32	Motion Start	Yes	🔍

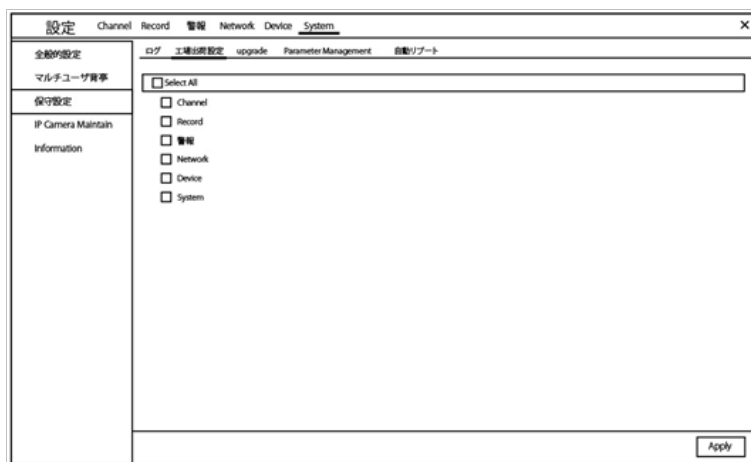
ログの検索とバックアップ：

1. 開始日は、カレンダーのアイコンをクリックし、設定します。開始時刻は、フィールドをクリックして、時刻を設定します。

2. 終了日は、カレンダーのアイコンをクリックし、設定します。終了時刻は、フィールドをクリックして、時刻を設定します。
3. 検索するイベントの種類を [ログタイプ] の横にあるドロップダウンから選択するか、[すべて] を選択して、選択した期間のシステムログ全体を表示します。
4. [検索] をクリックします。
5. 検索期間からシステムログイベントを参照します。
 - ビデオイベントは、「再生」列をクリックすると即座に再生できます。
 - システムログイベントのページ間を移動するには、メニューの右下隅にある **◀ / ▶** ボタンを使用します。
6. [バックアップ] をクリックして、検索期間のシステムログのバックアップを作成します。お使いのフラッシュが NVR の USB ポートに接続されていることを確認してください。
7. バックアップドライブのメニューが表示されます。バックアップファイルを保存するフォルダに移動し、[OK] をクリックして開始します。

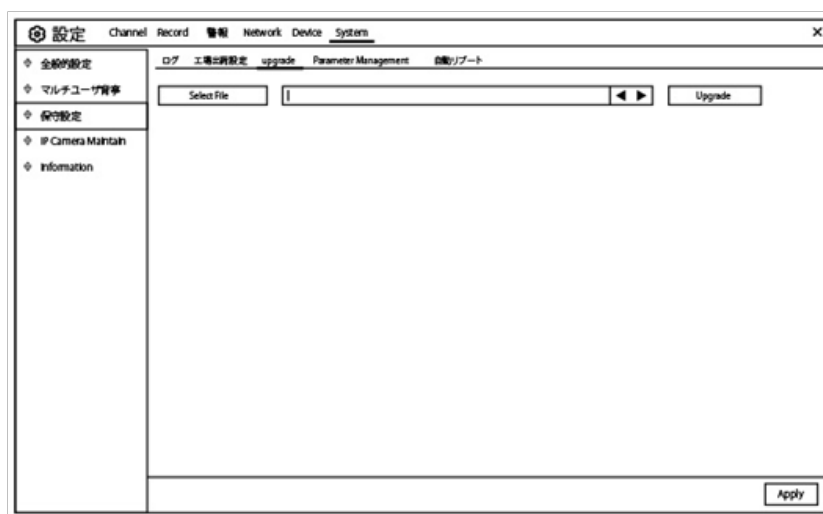
5.6.4.2 工場出荷設定

NVR 設定を工場出荷状態に戻します。一度にすべての設定をリセットするか、特定のメニューの設定だけをリセットするかを選択できます。デフォルト設定を復元しても、ハードディスクに保存されている録画やスナップショットは削除されません。



復元するアイテムを確認するか、[Select All] をチェックしてすべてのアイテムを選択します。選択したアイテムのデフォルト設定を読み込むには、[Apply] をクリックします。

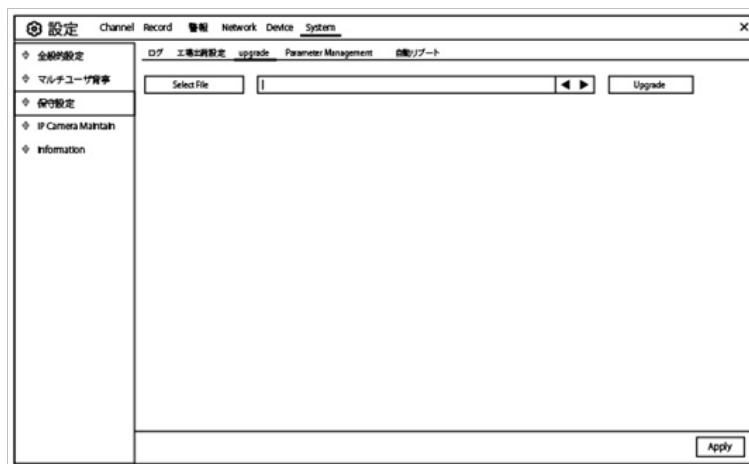
5.6.4.3 Upgrade



1. ファームウェアファイル（.sw ファイル）を USB ドライブにコピーし、USB メモリーを NVR に挿入します
2. [Selet file] ボタンをクリックして USB メモリーのファームウェアファイルを選択し、[OK] をクリックします。
3. [Upgrade] ボタンをクリックしてシステムのアップグレードを開始します。
システムのアップグレードは約 5-10 分かかります。ファームウェアアップグレード中に NVR の電源を切ったり、NVR から USB を取り外したりしないでください。

5.6.4.4 ParameterManagement

設定したメインメニューの設定を USB フラッシュドライブにエクスポートします、エクスポートされた設定ファイルを USB フラッシュドライブから NVR にインポートすることができます。



[エクスポート] 設定 : NVR の現在のシステム設定を USB デバイスに保存する場合にクリックします。

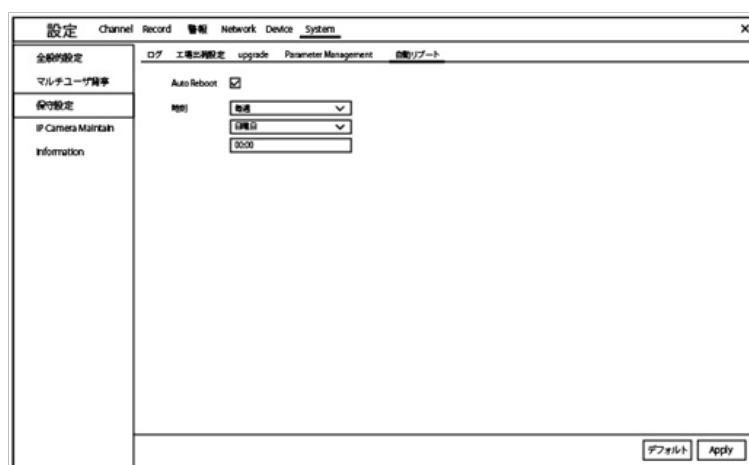
認証するには管理者パスワードを入力する必要があります。

設定の読み込み : システム設定の書き出しを作成したら、その設定を別の NVR に読み込むことができます。

[インポート設定] : ボタンをクリックすると、USB フラッシュドライブからインポートするシステム設定ファイルが表示されます。
認証するには管理者パスワードを入力する必要があります。

5.6.4.5 自動リブート

このメニューでは、NVR を定期的に自動再起動することができます。この機能を有効にしたままにすることをお勧めします。NVR の操作上の完全性を維持するためです。

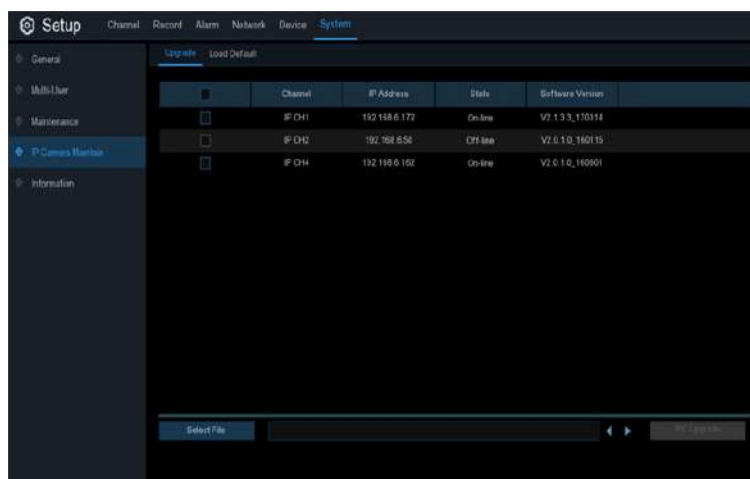


自動再起動 : チェックボックスをオンにすると有効になります。

時間 : NVR を日、週、月単位で再起動するように設定できます。

5.6.5 IPCamera Maintain

IP カメラのファームウェアをアップグレードし、IP カメラのデフォルト設定に戻すことができます

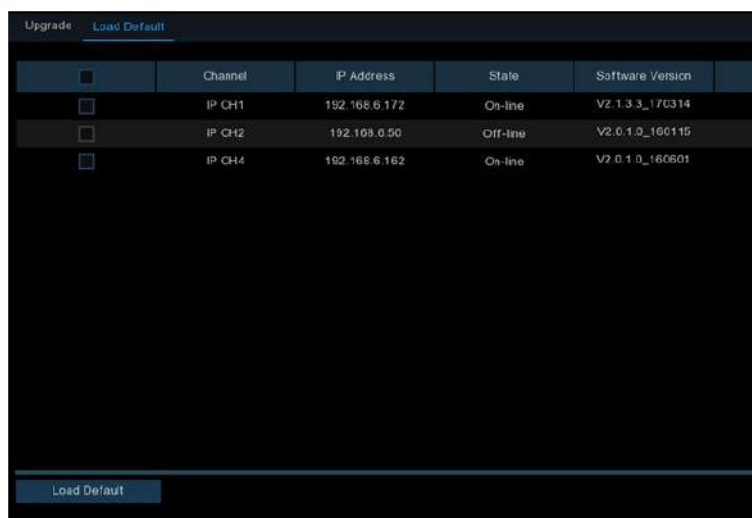


5.6.5.1 Upgrade IPCamera



1. ファームウェアをアップグレードする IP カメラの 1 つを選択します。
2. [ファイルの選択] をクリックして、USB フラッシュドライブからアップデートファイルを選択し、[OK] をクリックします。
3. IPC アップグレードボタンをクリックしてアップグレードを開始します。認証するには管理者パスワードを入力する必要があります。NVR と IP カメラの電源を切ったり、アップグレード中に USB を取り外したりしないでください。

5.6.5.2 IP カメラを工場出荷状態に戻す



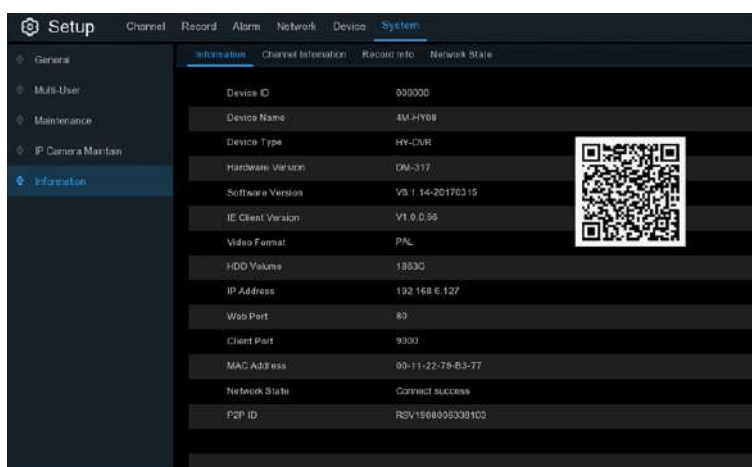
1. 復元する IP カメラを選択します。
2. [工場出荷設定] をクリックして設定を復元します。 認証するには管理者パスワードを入力する必要があります。

5.6.6 System Information

システム情報、チャンネル情報、記録情報&ネットワーク状態の確認ができます。

5.6.6.1 Information

デバイス ID、デバイスモデル名、IP アドレス、MAC アドレス、ファームウェアのバージョンなどのシステム情報を表示します。



NVR が P2P 機能をサポートしている場合は、情報ページに P2P ID と P2P QR コードがあります。モバイルアプリでこの QR コードをスキャンすると、NVR をリモートで見ることができます。

5.6.6.2 Channel Information

Information Channel Information Record Info Network State							
Channel	Alias	State	Mainstream	Substream	Motion Detection	Privacy Zone	
CH17	CH17	On-line	704x 480, 30Fps, 32Kbps	704x 480, 0Fps, 8Kbps	Support	Support	
CH18	CH18	On-line	704x 480, 30Fps, 32Kbps	704x 480, 0Fps, 8Kbps	Support	Support	
CH19	CH19	On-line	704x 480, 30Fps, 32Kbps	704x 480, 0Fps, 8Kbps	Support	Support	
CH20	CH20	On-line	704x 480, 30Fps, 32Kbps	704x 480, 0Fps, 8Kbps	Support	Support	
CH21	CH21	On-line	704x 480, 30Fps, 32Kbps	704x 480, 0Fps, 8Kbps	Support	Support	
CH22	CH22	On-line	704x 480, 30Fps, 32Kbps	704x 480, 0Fps, 8Kbps	Support	Support	

エイリアス、メインストリーム、サブストリーム録画仕様、モーション検出ステータス& プライバシーゾーンなど、接続された各カメラのチャンネル情報を表示します。

5.6.6.3 RecordInformation

Information Channel Information Record Info Network State						
チャンネル	Record State	録画	ストリームタイプ	解像度	FPS	ビットレート
CH1	オフ	有効				
CH3	オフ	有効				
CH4	オフ	有効				

ビットレート、ストリームタイプ、録画解像度、フレームレート（FPS）など、接続されている各カメラの録画情報を表示します。

5.6.6.4 NetworkState

Information Channel Information Record Info Network State		
Attribute		Value
WLAN		
IP Address		192.168.1.100
Subnet Mask		255.255.255.0
Gateway		192.168.1.1
MAC Address		86-72-29-86-A3-23
DHCP		Enable
Internal Interface		
Connected		
IP Address		10.10.25.100
Subnet Mask		255.255.0.0
DNS1		192.168.1.1
DNS2		8.8.8.8
PPPoE		Disable
Port		
Web Port		80
Client Port		9000
RTSP Port		554
UPNP		
Disable		
Total Band Width:		320Mbps
Used Band Width:		5.013Mbps

ネットワーク情報を表示します。

合計帯域幅：IP カメラの NVR の全入力帯域幅を示します。

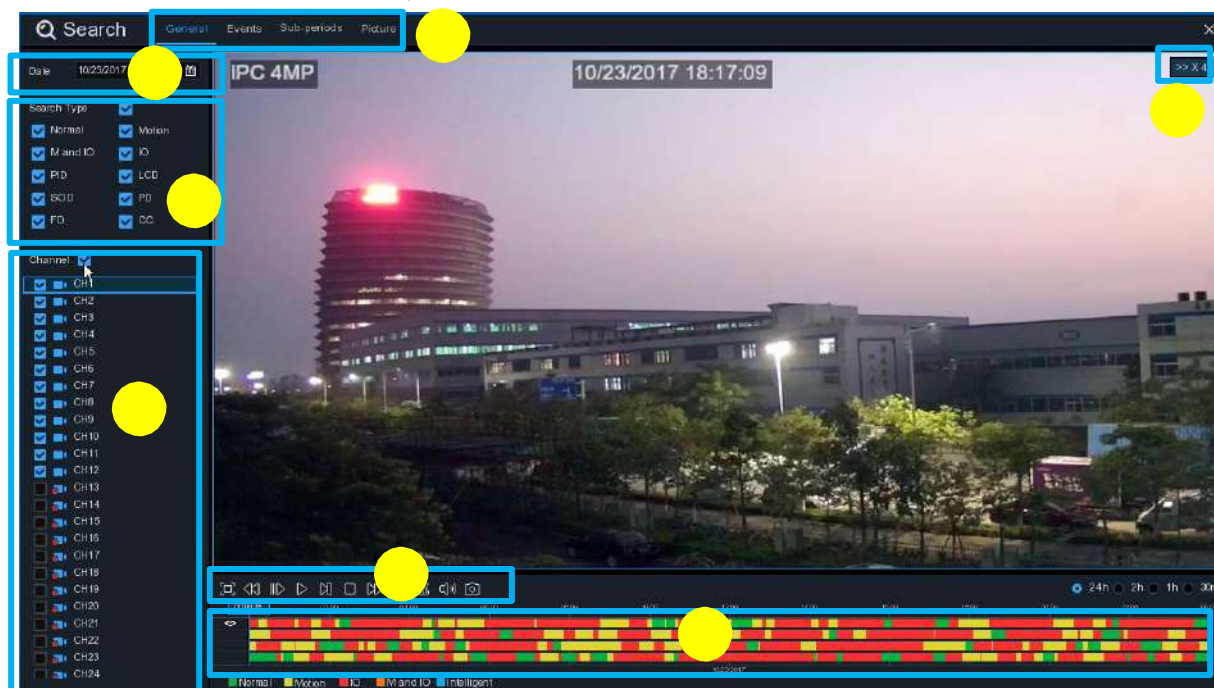
使用帯域幅：IP カメラの使用帯域を表示します。

第 6 章 検索、再生、バックアップ

検索機能を使用すると、NVR のハードドライブに保存されているスナップショットだけでなく、以前に録画したビデオを検索して再生することができます。録画スケジュール、手動録画、またはモーションイベントのみに一致するビデオを再生することができます。バックアップ機能は、重要なイベント（ビデオとスナップショットの両方）を USB フラッシュドライブに保存

6.1 検索を利用して再生します

スタートメニューより  検索ボタンを押します。



1. 検索オプション：検索、再生のさまざまな方法を提供します：
一般、イベント、Sub-periods、Picture
2. 検索日：再生する日付で検索する
3. SearchType：検索を絞り込むための検索タイプを選択します。
4. チャンネル：検索して再生したいチャンネルを選択します。
5. 再生ツール：再生のコントローラー



ビデオの再生を全画面に拡大



巻き戻し、x2、x4、x8、x16



スロー再生、1/2、1/4、1/8、1/16 スピード



再生



一時停止



フレームごとに再生します。一度クリックすると動画のフレームが再生されます



停止



早送り、x2、x4、x8、x16



デジタルズーム：クリックしてズームイン（1 画面）し、再生中にカメラの画像をマウスのホイールでスクロールして、選択した領域を拡大します。右クリックすると通常の再生に戻ります。



ビデオクリップ。ビデオの一部を USB フラッシュドライブにすばやく保存できます。詳しくは 6.1.1.1 VideoClipBackup



ビデオクリップを保存する



ボリュームコントロール：スライダバーをスクロールして音量を増減します。



スナップショット：USB フラッシュドライブにスナップショットイメージをキャプチャーします。ビデオの再生が分割画面表示の場合は、キャプチャーしたいチャンネルにマウスカーソル  を移動し、アイコンをクリックしてスナップショットを保存します。

6. タイムライン : 録画データは、録画方法により色分けされてタイムバーに表示されます。右上の時間設定バーで時間軸の変更が可能です。

☒ 24h ☐ 2h ☐ 1h ☐ 30m

録画タイプを色別に表示します

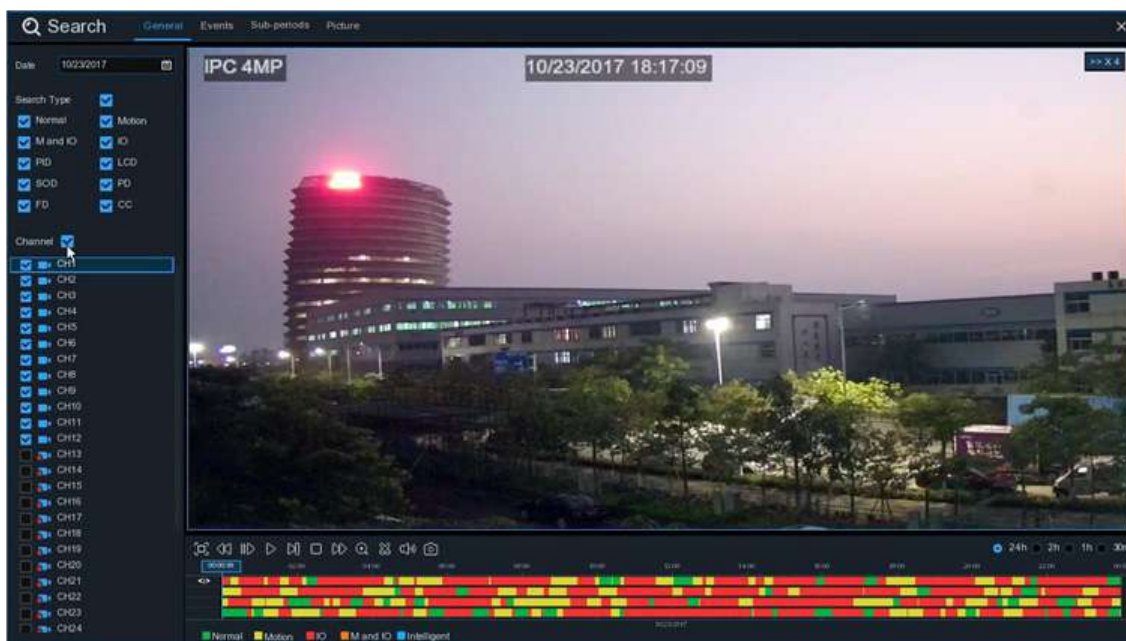
☐ 連続 ☐ モーション ☐ Intelligent ☐ Alarm

常時録画 : 緑
モーション録画 : 黄
intelligent : 青
アラーム : 橙

7. 再生状態 : 再生状態を表示します。

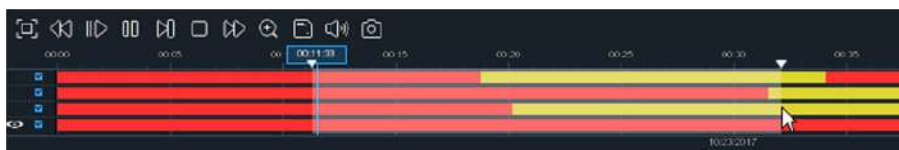
6.1.1 全般での検索と再生

選択した日付の録画を検索および再生することができます。

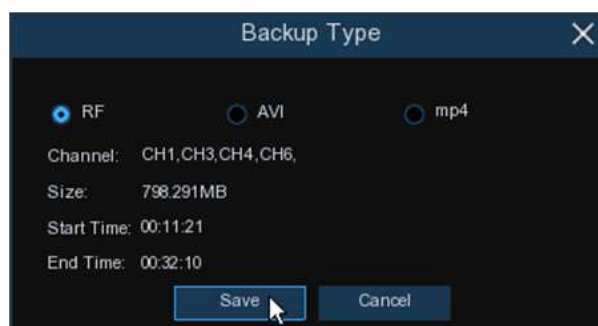


1. カレンダーからビデオ録画を検索する日付を選択します。
2. 検索タイプを選択します。
3. 検索したいチャンネルにチェックを入れ検索します。
4. 検索結果は、00:00 ~ 24:00 のタイムラインに表示されます。
5. ▶ ボタンをクリックし再生をします。
6. ビデオ再生コントロールのボタンで再生を制御します。
7. ☒ 24h ☐ 2h ☐ 1h ☐ 30m 時間枠を設定して、希望の再生時間を表示します。
8. USB フラッシュドライブの再生中にビデオのセクションをすばやく保存したい場合は、をクリックし、ビデオクリップバックアップ機能を使います。

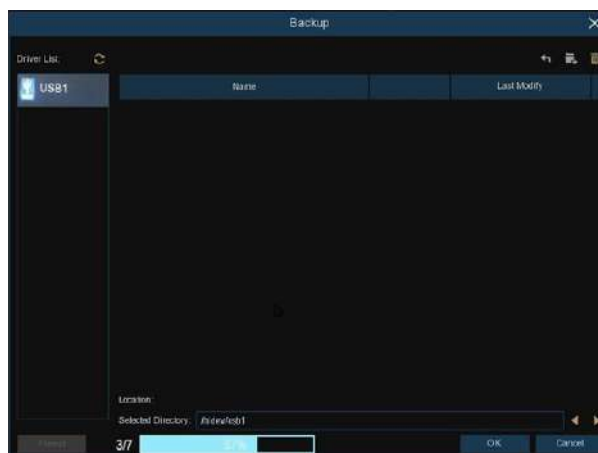
6.1.1.1 ビデオクリップ バックアップ



1. USB フラッシュドライブを NVR に挿入します。
2. ビデオ録画の再生を開始する。
3.  アイコンをクリックします。
4. ビデオクリップのバックアップを作成するチャンネルを確認してください) 。
5. ビデオクリップを開始するタイムラインにマウスカーソルを移動します。
6. マウスの左ボタンを押したまま、ビデオクリップを終了するタイムラインにドラッグします。
7.  のアイコンが  アイコンに変わります。  をクリックし、保存します。
8. バックアップファイルのファイルタイプを選択し、[保存] ボタンをクリックしてビデオクリップを保存します。 お使いの USB ドライバにビデオクリップを保存するのに十分なスペースがあることを確認してください。



9. バックアップドライブメニューが表示されます。 バックアップファイルを保存するフォルダに移動します。
10. [OK] をクリックして開始します。 ウィンドウの下部にあるプログレスバーに、バックアップの進捗状況が表示されます。



6.1.2 イベント検索 再生とバックアップ

イベント検索では、チャンネル、開始時間と終了時間、および録画タイプを便利に要約したビデオ録画のリストを表示できます。 イベントを USB フラッシュドライブにすばやくバックアップすることもできます。

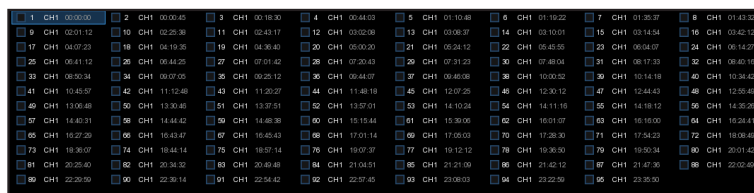


イベントを検索、再生、バックアップするには：

1. 検索する日付と時刻を選択します。
2. 検索する録画タイプを確認するか、[検索タイプ] ですべてを選択します。
3. 検索するチャンネルを選択するか、チャンネルをチェックしてすべてのチャンネルを選択します。
4. 🔍 アイコンをクリックして検索を開始します。
5. 検索条件に合ったイベントがリスト形式で表示されます。 イベントの 1 つでマウスの左ボタンをダブルクリックすると、ビデオをすぐに再生できます。
6. K < 1 /11 > M メニューの右下にあるアイコンを使用してページをスキップする。直接ページを入力するかアイコンで移動します。
7. 画面の右下に表示されるアイコンをクリックすると、リスト形式の表示を切り替えることができます。

 サムネイル表示：イベントのスナップショットを表示できます。

 リスト表示：イベントがリストに表示されます。



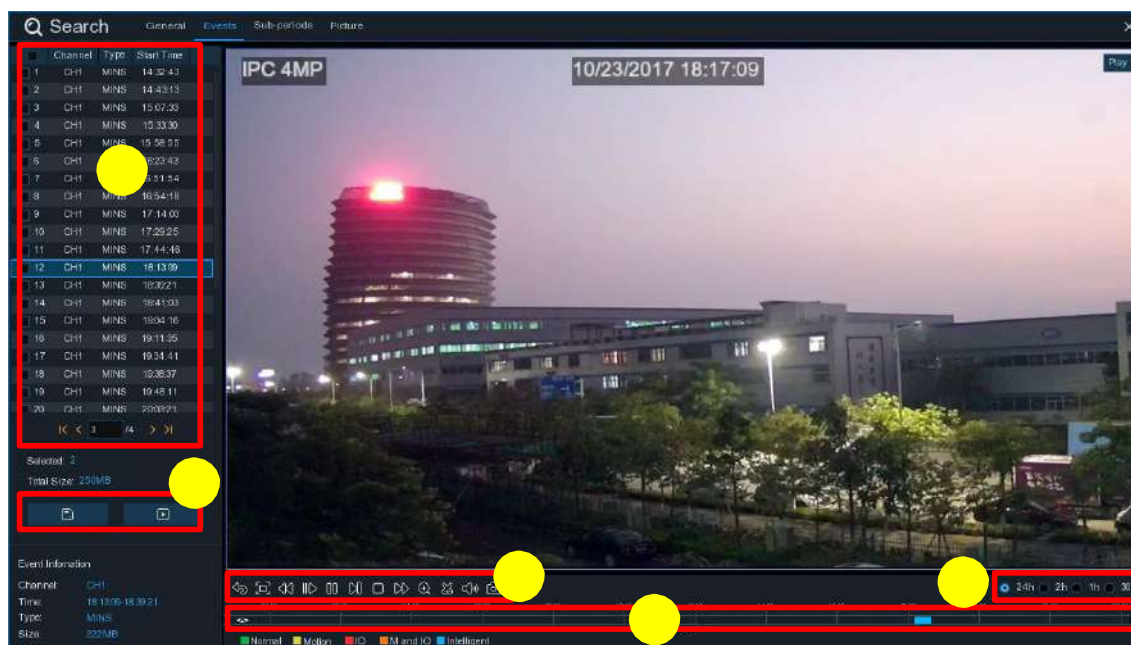
 詳細表示：イベントの詳細を表示できます。

	Channel	Type	Date	Start Time	End Time	Size	Playback	Lock
☐	CH1	MINS	10/23/2017	00:00:00	00:00:43	6MB	☐	☐
☐	CH1	MINS	10/23/2017	00:00:45	00:18:30	150MB	☐	☐
☐	CH1	MINS	10/23/2017	00:18:30	00:44:03	217MB	☐	☐
☐	CH1	MINS	10/23/2017	00:44:03	01:10:48	227MB	☐	☐
☐	CH1	MINS	10/23/2017	01:10:48	01:19:22	72MB	☐	☐
☐	CH1	MINS	10/23/2017	01:19:22	01:35:37	138MB	☐	☐
☐	CH1	MINS	10/23/2017	01:35:37	01:43:32	67MB	☐	☐
☐	CH1	MINS	10/23/2017	01:43:32	02:25:12	150MB	☐	☐
☐	CH1	MINS	10/23/2017	02:01:12	02:25:38	267MB	☐	☐
☐	CH1	MINS	10/23/2017	02:25:38	02:43:17	150MB	☐	☐
☐	CH1	MINS	10/23/2017	02:43:17	03:02:08	166MB	☐	☐
☐	CH1	MINS	10/23/2017	03:02:08	03:06:37	53MB	☐	☐

詳細ビューモードでは、ビデオイベントをロックして、イベントがハードドライブに上書きされないようにすることができます。 クリックでロック  クリックで解除できます。

- いずれかのイベントでマウスの左ボタンをクリックすると、システムは画面の左下隅にイベント情報を表示します。
- ファイルを選択するイベントの番号の横にあるチェックボックスをオンにするか、
[次へ] チェックボックスをオンにして、ページ内のすべてのイベントを選択します
- 選択したファイルの数、合計サイズ情報が画面の右下に表示されます。
- ファイルを選択したら、 アイコンをクリックしてビデオを USB フラッシュドライブに保存できます。または、 アイコンをクリックしてイベント再生コントロールウィンドウにビデオを再生します。

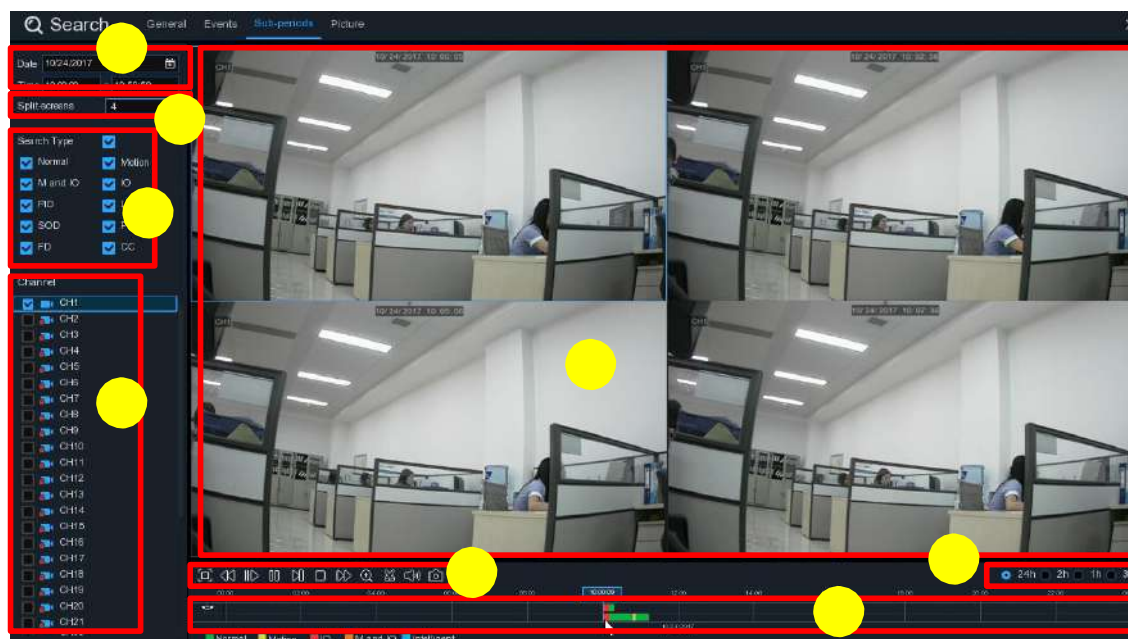
6.1.2.1 EventPlayback Control



1. イベントリストからイベントを選択できます。
2. アイコンをクリックして、選択したイベントビデオを USB フラッシュドライブに保存します。 アイコンをクリックしてビデオを再生します。
3. ビデオ再生コントロールのボタンで再生を制御します。 アイコンをクリックするか、マウスの右ボタンをクリックして再生を終了し、イベント検索ウィンドウに戻ることができます。
4. 今、再生しているイベントがタイムラインに表示されます。
5. ☒ 24h ☐ 2h ☐ 1h ☐ 30m 時間枠を設定して、希望の再生時間を表示します。

6.1.3 サブ期間の再生

サブ期間の再生では、1つのチャンネルから複数の通常の録画とモーションイベントを同時に再生できます。通常録画とイベント録画の場合、ビデオは選択された分割画面モードに応じて均等に分割されます。たとえば、ビデオの時間が1時間で、分割画面×4を選択した場合、各分割画面は15分間再生されます。



サブ期間でビデオを検索して再生するには：

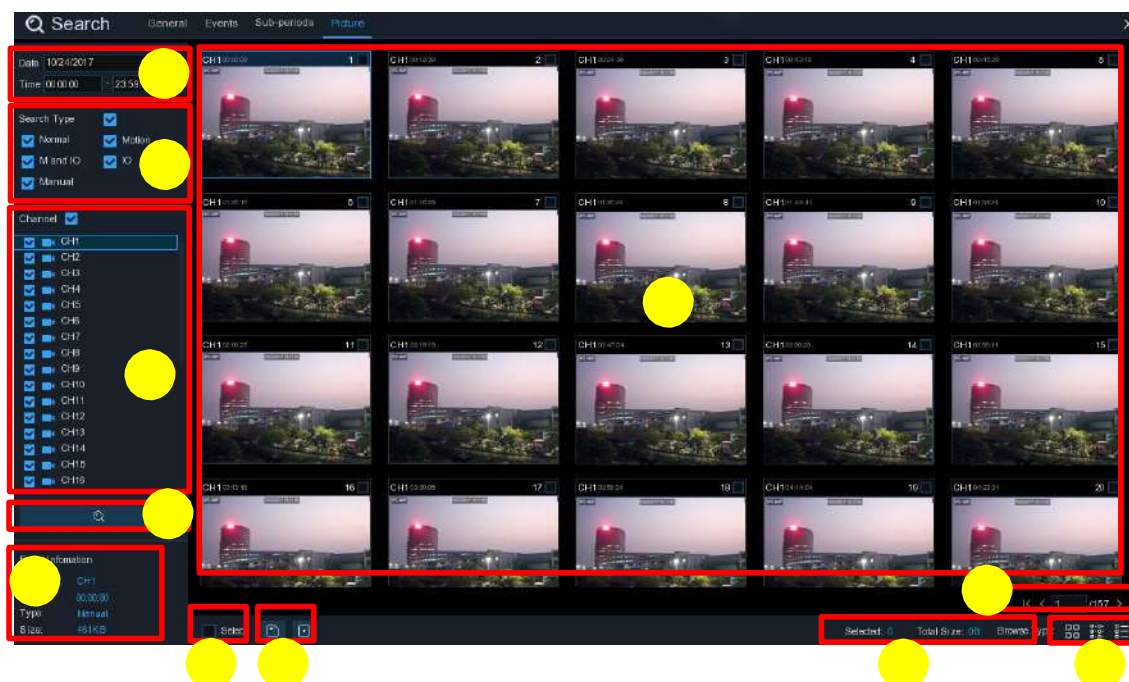
1. 検索する日付と時刻を選択します。
2. 動画を再生する分割画面を選択します。
3. 検索する録音タイプを確認するか、[検索タイプ]ですべてを選択します。
4. 検索するチャンネルを選択します。この機能は、一度に1つのチャンネルを検索して再生する機能しかサポートしていません。
5. 再生を開始するには、▶再生ボタンをクリックします。ビデオ再生コントロールのボタンで再生を制御します。
6. 動画が分割画面で再生されています。
7. 特定の分割画面でマウスの左ボタンをクリックすると、ビデオ分割画面の期間がタイムラインに表示されます。タイムライン上部のカラーバーは、クリックしたビデオ分割画面の時間間隔を示します。タイムラインの下部にあるカラーバーは、検索した動画全体の時間間隔を示します。



8. [24h 2h 1h 30m] 時間枠を設定して、希望の再生時間を表示します。を使用して、時間枠の詳細が設定できます。

6.1.4 画像検索と表示

この機能を使用して、スナップショットを検索、再生、およびコピーすることができます。



検索、再生、およびバックアップするには：

1. 検索する日付と時刻を選択します。
2. 検索するピクチャキャプチャーの種類を確認するか、[検索の種類] ですべてを選択します。
3. 検索するチャンネルを選択するか、チャンネルをチェックしてすべてのチャンネルを選択します。
4. 🔍 ボタンを押して検索を開始します。
5. 検索条件に合った写真がリスト形式で表示されます。大きな画像を表示するには、画像のいずれかをダブルクリックします。
6. K < 1 /11 > Mメニューの右下にあるアイコンを使用してページをスキップする。直接ページを入力するかアイコンで移動します。
7. 画面の右下に表示されるアイコンをクリックすると、リスト形式の表示を切り替えることができます。

 サムネイル表示 : イベントのスナップショットを表示できます。

 リスト表示 : イベントがリストに表示されます。

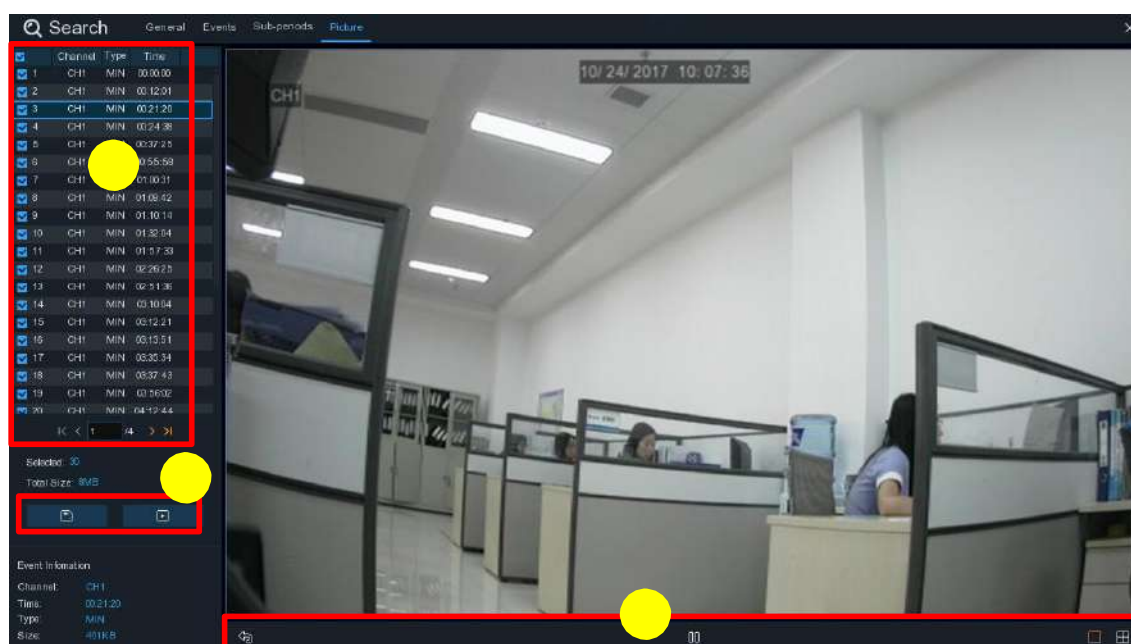
☐ 1 CH1 00:00:00	☐ 2 CH1 00:00:45	☐ 3 CH1 00:18:30	☐ 4 CH1 00:44:09	☐ 5 CH1 01:10:49	☐ 6 CH1 01:19:22	☐ 7 CH1 01:35:37
☐ 9 CH1 02:01:12	☐ 10 CH1 02:25:39	☐ 11 CH1 02:43:17	☐ 12 CH1 03:02:08	☐ 13 CH1 03:09:37	☐ 14 CH1 03:10:01	☐ 15 CH1 03:14:54
☐ 17 CH1 04:07:23	☐ 18 CH1 04:19:35	☐ 19 CH1 04:36:40	☐ 20 CH1 05:00:20	☐ 21 CH1 05:24:12	☐ 22 CH1 05:45:55	☐ 23 CH1 06:04:07
☐ 25 CH1 06:41:12	☐ 26 CH1 06:44:25	☐ 27 CH1 07:01:42	☐ 28 CH1 07:20:43	☐ 29 CH1 07:31:23	☐ 30 CH1 07:48:04	☐ 31 CH1 08:17:33
☐ 33 CH1 08:50:34	☐ 34 CH1 09:07:05	☐ 35 CH1 09:25:12	☐ 36 CH1 09:44:07	☐ 37 CH1 09:48:08	☐ 38 CH1 10:00:52	☐ 39 CH1 10:14:18
☐ 41 CH1 10:45:57	☐ 42 CH1 11:12:48	☐ 43 CH1 11:20:27	☐ 44 CH1 11:48:18	☐ 45 CH1 12:07:25	☐ 46 CH1 12:30:12	☐ 47 CH1 12:44:43
☐ 49 CH1 13:06:48	☐ 50 CH1 13:30:46	☐ 51 CH1 13:37:51	☐ 52 CH1 13:57:01	☐ 53 CH1 14:10:24	☐ 54 CH1 14:11:16	☐ 55 CH1 14:18:12
☐ 57 CH1 14:40:31	☐ 58 CH1 14:44:42	☐ 59 CH1 14:48:38	☐ 60 CH1 15:15:44	☐ 61 CH1 15:30:06	☐ 62 CH1 16:01:07	☐ 63 CH1 16:16:00

 詳細表示 : イベントの詳細を表示できます。

	Channel	Type	Date	Time	Size	Playback
☐ 1	CH1	MIN	10/24/2017	00:00:00	160KB	
☐ 2	CH1	MIN	10/24/2017	00:12:01	201KB	
☐ 3	CH1	MIN	10/24/2017	00:21:20	401KB	
☐ 4	CH1	MIN	10/24/2017	00:24:38	111KB	
☐ 5	CH1	MIN	10/24/2017	00:37:25	167KB	
☐ 6	CH1	MIN	10/24/2017	00:55:58	210KB	

8. 画像の 1 つでマウスの左ボタンをクリックすると、画面の左下隅に画像情報が表示されます。
9. 次のボックスのチェックボックスをオンにしてファイルを選択するか、[次へ] チェックボックスをオンにして、ページ内のすべての画像を選択します。
10. 選択したファイルの数、合計サイズ情報が画面の右下に表示されます。
11. ファイルを選択したら、 ボタンをクリックして画像を USB フラッシュドライブに保存できます。または、 ボタンをクリックして画像プレビューコントロールウィンドウに移動します。

6.1.5.1 画像プレビューコントロール



1. 画像一覧：ここで画像を選択できます。
2.  ボタンをクリックして、選択した画像を USB フラッシュドライブに保存します。
 ボタンをクリックすると、スライドショーの画像が表示されます。
3.  ボタンを押してプレビューコントロールウィンドウを終了し、画像検索ウィンドウに戻ります。
一時停止するには  ボタンを押し、スライドショーを再開するには、 を押します。
 ボタンを押すと前のスナップショットまたはスナップショットのグループが表示され、 を押すと次のスナップショットまたはスナップショットのグループが表示されます。
 クリック  ボタンをクリックすると一度に 1 つのスナップショットが表示され、
 ボタンをクリックすると 4 つのスナップショットが同時に表示され、ボタンを押すと 9 つのスナップショットが一度に表示されます。

第7章 Web クライアント経由の遠隔操作

Web クライアントを使用して、PC 経由で NVR にリモートアクセスできます。Web クライアントにアクセスする前に、NVR のインターネット設定が適切に構成されていることを確認してください。

7.1 基本的なシステム環境

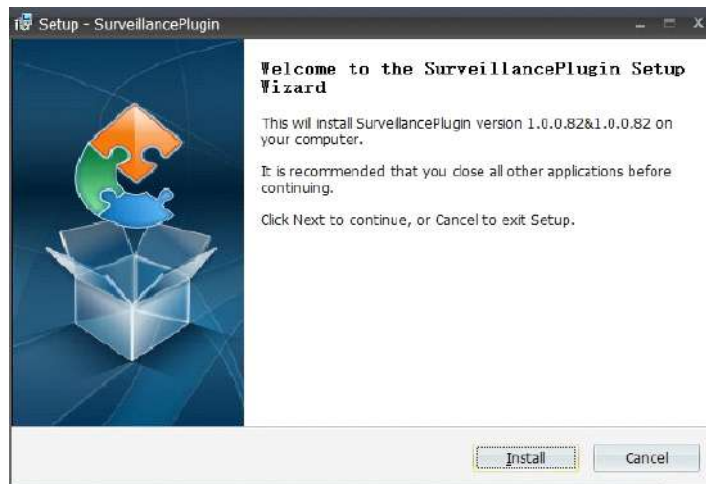
アイテム	最小システム要件	推奨
CPU	Intel®Core™i5CPU	Intel®Core™i5CPUorhigher
RAM	4G 以上	8G 以上
ハードドライブ	500G 以上	1000G 以上
ディスプレイ RAM	2G 以上	4G 以上
ディスプレイ解像度	1280*1024	1920*1080
OS	Windows7orabove	
	Mac OS X® 10.9 以上	
DirectX	DirectX11	
Direct3D	AccelerationFunction	
EthernetAdapter	10/100/1000MEthernetAdapter	
IE	MicrosoftInternet Explorer (Ver.11,10,9,8).Edgeは対応していません。	
Mozilla Firefox	V51 以下 . V52 以上のバージョンをサポートしていません。	
Google Chrome	V44 以下 V45 以上のバージョンをサポートしていません。	
Mac Safari	5.1 以上	

7.2 Web プラグインのダウンロードとインストール

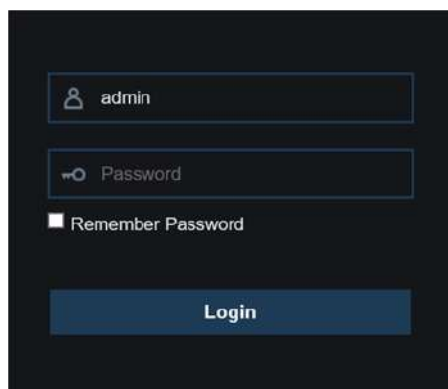
Web クライアントにアクセスするには、次の操作を行います：

For IE/Chrome/Firefox:

1. PC でエクスプローラを起動し、設定した NVR IP アドレスまたは DDNS ドメイン名（ホスト名）を URL に入力します。
2. Web クライアントを実行する場合、Web クライアントプラグインをインストールする必要があります。download をクリックしてプラグインをダウンロードし、コンピュータにインストールします。



3. プラグインをインストールしたら、ブラウザを閉じて再度起動し、手順 1 を繰り返してログインページを開きます。ユーザー名とパスワードを入力して Web クライアントにログインします。



メモ： Google Chrome を使用している場合は、バージョン V41 以降を使用してください。 V42~V44 を使用する場合は、NPAPI プラグインを有効にする必要があります。 NPAPI を有効にするには、URL バーに `chrome://flags/#enable-npapi` を入力してください。現在はバージョン V45 以上には対応していません。

Mac Safari:

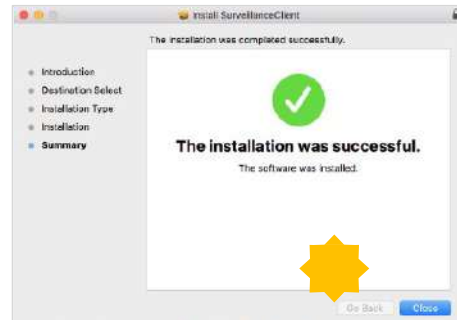
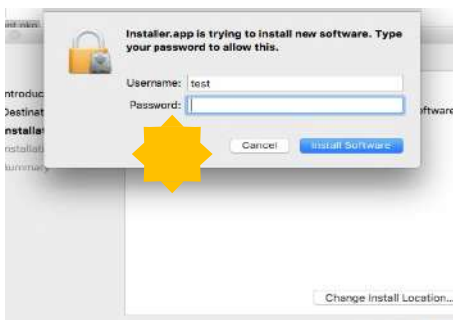
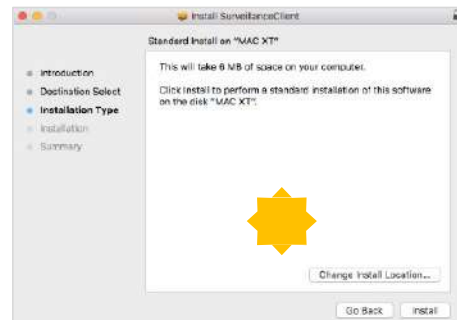
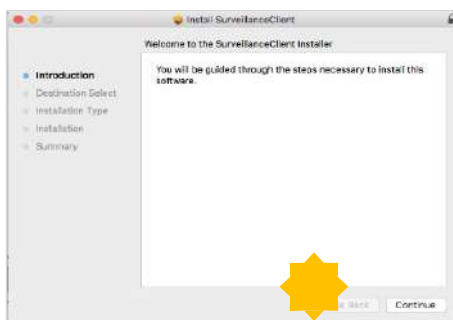
1. Mac で Safari を起動し、URL ボックスに設定した NVR IP アドレスまたは DDNS ドメイン名（ホスト名）を入力します。



2. プラグイン「SurveillanceClient.dmg」をダウンロードし、ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。



3. 「続行」 -> 「インストール」をクリックします。 Mac コンピュータのユーザー名とパスワードを入力し、 "Install Software" -> "Close" をクリックしてインストールを完了します。



4. Safari を終了してもう一度開くと、Web クライアントのログインページが開きます。

7.3 Web クライアントマネージャ

Web クライアントでは、管理者アカウントの NVR を制御することができます。不正なログインを防止するため、ユーザー名とパスワードを大切に保管してください。

7.3.1 ライブインターフェイス

ライブプレビューを開いたり閉じたり、手動でローカルコンピュータにビデオを録画したり、画面のスナップショットを撮ったり、PTZ コントロール、色調整などを行うことができます。



1- チャンネルリスト: クイックカメラ機能のためのチャンネルリストを開きます。



チャンネルリストを表示します。



チャンネルリストを非表示にします。

ライブビデオストリームのオン / オフを切り替えます。 ライブビデオストリームがオンの場合、ボタンは青色で表示されます。



手動記録ボタン。クリックすると、ライブストリームビデオを手動で録画します。もう一度クリックすると録音を停止します。手動録画はコンピュータに保存されます。録音中は、ボタンは青色で表示されます。



現在のライブディスプレイのスナップショットをコンピュータに保存します。



ビットレートボタン。メインストリーム、サブストリーム、またはモバイルストリームのビデオ設定を使用するようにカメラを設定します。モバイルストリームは、IP チャンネルでのみ使用できます。

2- ライブビデオストリームオプション：

- メインストリーム : 高品質のメインストリームビデオ設定を使用して、すべてのライブビデオを表示します。
- サブストリーム : 中品質のサブストリームビデオ設定を使用して、すべてのライブビデオを表示します。
- モバイルストリーム : 低品質のモバイルストリームビデオ設定を使用して、すべてのライブビデオを表示します。IP チャンネル専用です。

3- メインメニュー：

- ライブストリーム : カメラからライブビデオを見る
- 再生 : NVR の HDD に保存されている録画ビデオを表示します。
- リモート設定 : NVR 設定メニューの機能にアクセスします。
- ローカル設定 : Web クライアントを使用して撮影した録画やスナップショットのダウンロード場所を設定しビデオファイルのファイルタイプを選択します。

4- 情報：システムの詳細が表示されます。

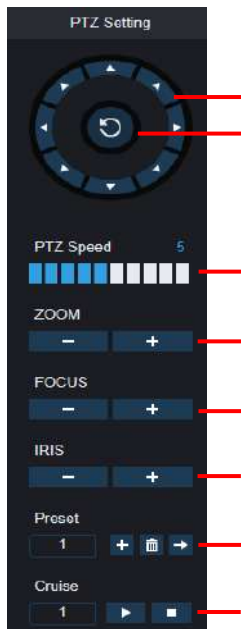
5- 閉じる

6- カラーコントロールカラーコントロールを表示または非表示



7- PTZ Controls: PTZ コントロールを表示または非表示にします。

8- PTZ Controls



方向キー：クリックすると PTZ カメラが動きます。
自動ラインスキャン

PTZ スピード :PTZ カメラの動作スピードの調整

Zoom:-/+ ズームイン / ズームアウト

Focus:-/+ 焦点調整

Iris:-/+ 露出調整

Preset Point: プリセットの追加・削除ができます。

Cruise: 開始 / 停止 PTZ クルーズ

9- ライブビューコントロールボタン：



ライブ画面で画像を開く



すべてのライブチャンネルを閉じる



元の割合：元の割合でライブビデオを表示します。



拡大：画面上の各チャンネルの全領域に合わせてライブビデオを拡大します。



Web クライアントをフルスクリーンに拡大する。



手動録画：表示されているすべてのチャンネルの録画を手動で開始します。手動録画はコンピュータに保存されます。



スナップショット：現在表示されているすべてのチャンネルのスナップショットがコンピュータに保存されます。



デジタルズーム：ライブ画像のある領域をクリック&ドラッグして拡大します。右クリックすると通常表示に戻ります。



ボリュームコントロール



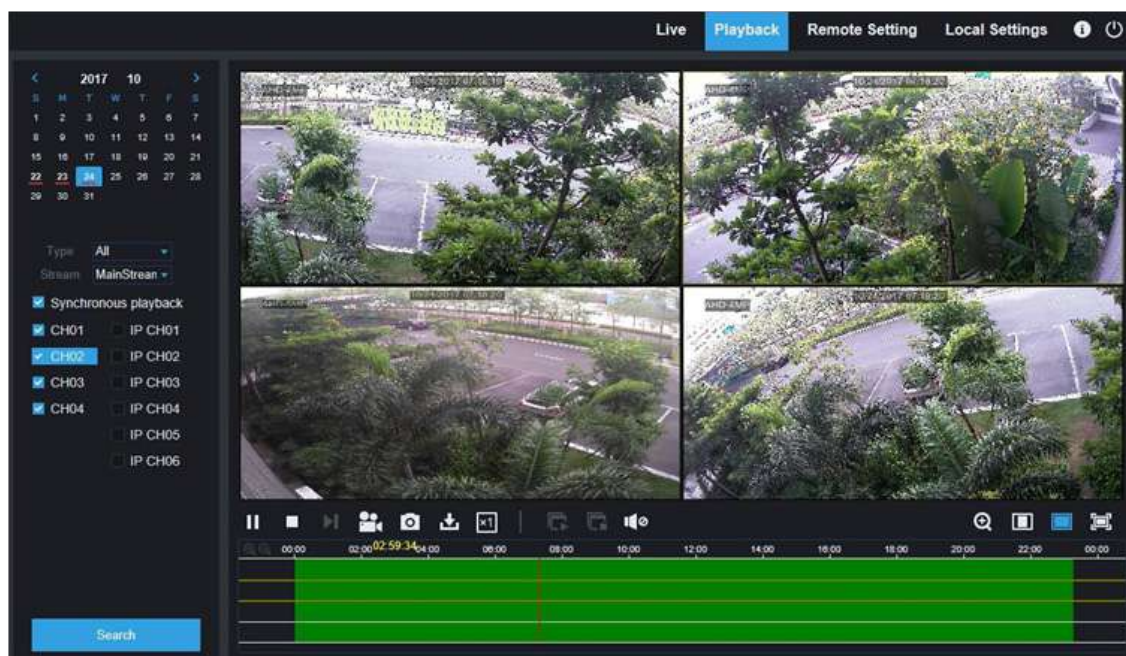
ミュート

10- ナビゲーション：画面に表示されているチャンネルのページ番号を表示します。
矢印キーを使用してページを切り替えます。

11- ページビュー：一度に画面に表示されるチャンネルの数を選択できます。

7.3.2 再生

NVR 内の HDD に保存されている録画ビデオを再生し、コンピュータにダウンロードすることができます。



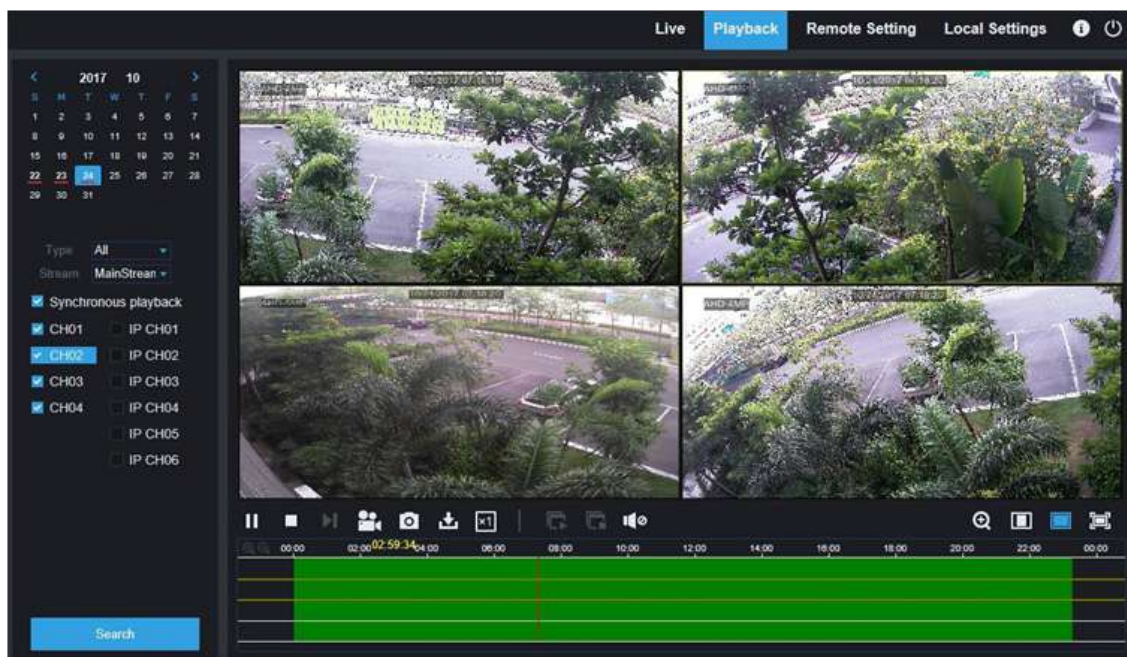
録画検索：

1. ウィンドウの右上隅にある [Playback] をクリックします。
2. カレンダーで録画を検索する日を選択します。録音した日には赤い下線が付きます。
3. [タイプ] の横にあるドロップダウンから検索するタイプを選択するか、
[すべて] を選択して録音を検索します。
4. 再生するビデオストリームを選択する。サブストリームの録音を再生する場合は、
5.2.2.1 レコードの Dualstream で録音するよう NVR が設定されていることを確認

してください。

5. 同期再生をチェックすると、すべてのチャンネルを一度に再生できます。
6. 検索をクリック
7. 再生を開始するビデオのセクションをクリックし、▶ 再生ボタンをクリックします。

7.3.2.1 再生コントロールボタン



録画を再生する



一時停止



停止



スキップ: フレームごとに移動します

再生中のチャンネルの 1 つをクリックし、録画ボタンをクリックしてビデオをコンピュータに録画します。もう一度クリックすると録音を停止します。



再生中のチャンネルの 1 つをクリックし、キャプチャーボタンをクリックしてスナップショットを作成し、コンピュータに保存します。



ダウンロードメニューを開き、一度に複数のビデオ録画をダウンロードすることができます。

	☐	Start Time	End Time	Status	File Size
1	☒	2017-10-25 00:00:00	2017-10-25 00:01:04	Completed	47.00M
2	☒	2017-10-25 00:01:04	2017-10-25 00:06:56	2%	253.76M
3	☐	2017-10-25 00:06:56	2017-10-25 00:12:48	Not Downloaded	253.71M
4	☐	2017-10-25 00:12:48	2017-10-25 00:18:41	Not Downloaded	253.91M
5	☐	2017-10-25 00:18:41	2017-10-25 00:24:34	Not Downloaded	253.64M
6	☐	2017-10-25 00:24:34	2017-10-25 00:30:27	Not Downloaded	253.68M
7	☐	2017-10-25 00:30:27	2017-10-25 00:36:18	Not Downloaded	253.75M
8	☐	2017-10-25 00:36:18	2017-10-25 00:42:10	Not Downloaded	253.90M
9	☐	2017-10-25 00:42:10	2017-10-25 00:48:03	Not Downloaded	253.74M
10	☐	2017-10-25 00:48:03	2017-10-25 00:53:56	Not Downloaded	253.63M

10 / 10 Show from 1 to 10, total 95. Per page : 10

Start Download Stop Download

ダウンロードするファイルを選択し、[ダウンロードの開始]ボタンを押すと、ダウンロードの状態が表示されます。



再生速度：クリックで再生スピードの変更



全てのチャンネルを再生：検索したすべてのチャンネルが再生されます。



全てのチャンネルを停止：すべてのチャンネルの再生が停止します。



デジタルズーム：再生中のビデオをクリックし、ビデオのある領域をクリック&ドラッグして拡大します。右クリックすると通常表示に戻ります。



元の割合：再生中のビデオを元の割合で表示します。



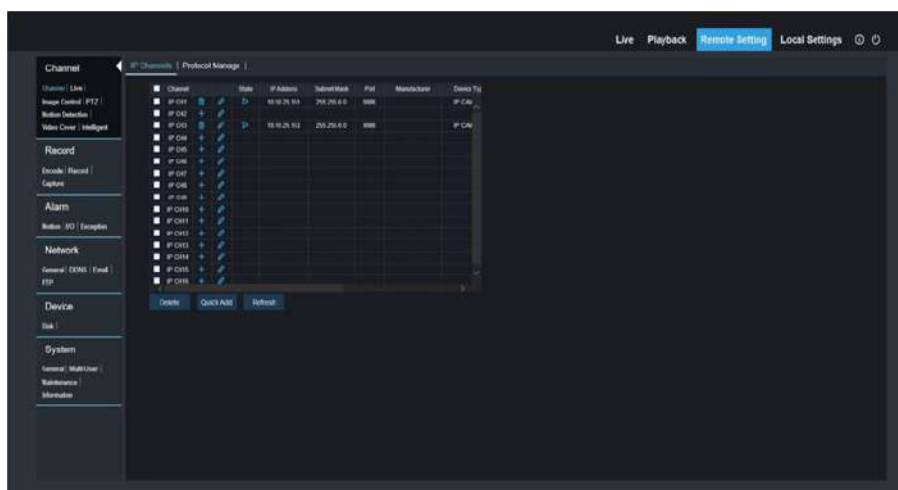
拡大：画面上の各チャンネルの全領域に合わせて再生ビデオを伸ばします。



Web クライアントをフルスクリーンに拡大する。

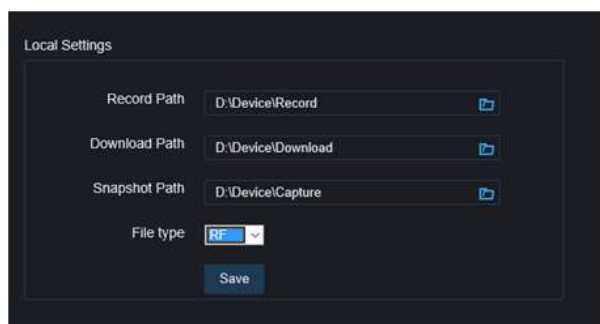
7.3.3 リモート設定

NVR の設定をリモートで設定できます。NVR 設定の詳細については、「第 5 章 NVR システム設定」を参照してください。



7.3.4 ローカル設定

Web クライアントを使用して撮影した録画やスナップショットのダウンロード場所を設定し、ビデオファイルのファイルタイプを選択します。



- 録画パス : アイコン  をクリックして、手動録画をコンピュータに保存するフォルダを選択します。
- ダウンロードパス : アイコン  をクリックして、ダウンロードしたビデオ録画をコンピュータに保存するフォルダを選択します
- スナップショットパス : アイコン  をクリックして、手動キャプチャスナップショットをコンピュータに保存するフォルダを選択します。
- ファイルタイプ : 手動録画に適したファイル形式を選択します。
- 保存 : 変更が保存されます。

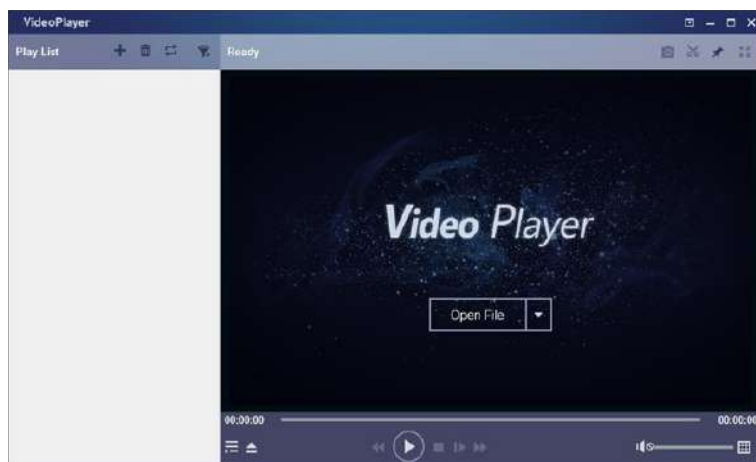
第8章 PC / Mac でバックアップされた映像を表示する

WINDOWS PC ユーザーは、"VideoPlayer_x.x.xx_xxxx_xx_xx.exe" をインストールしてください。

MinimumSystemRequirements

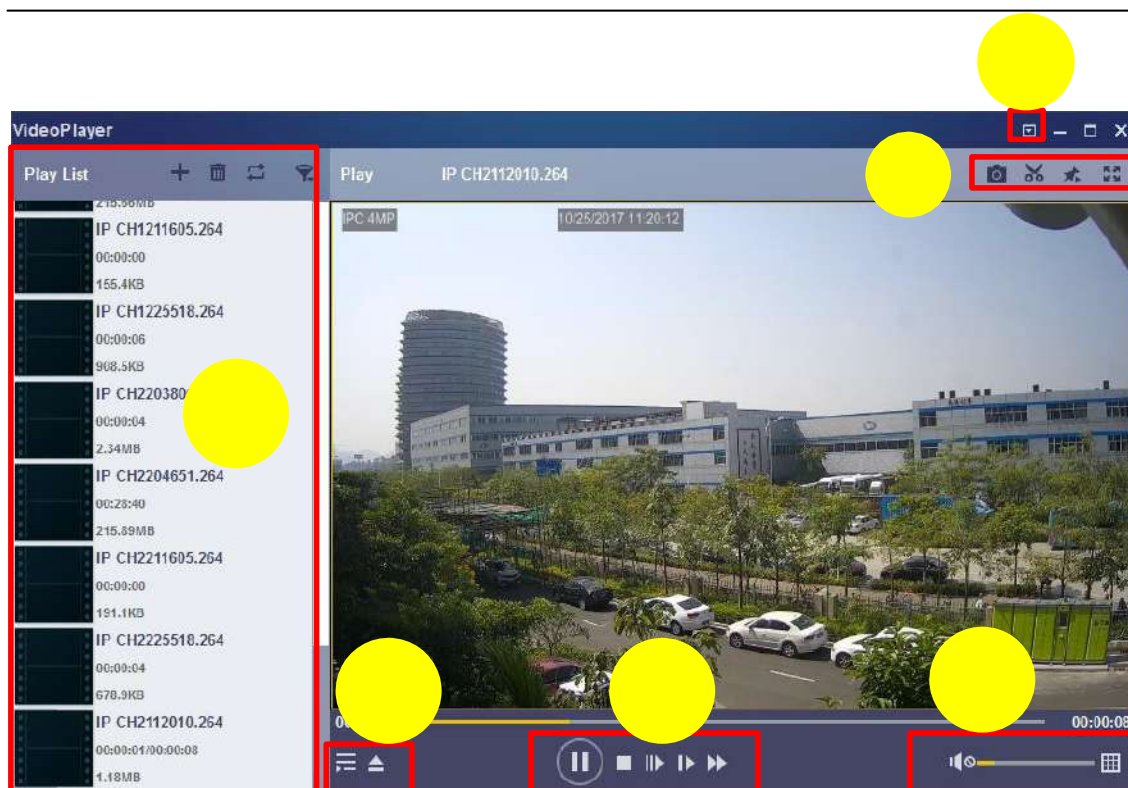
- Intel Pentium4 以上
- MicrosoftWindowsXP/Vista /7 /8/10
- 256MB RAM
- 16MB ビデオメモリー

1. Video Player ソフトウェアを CD にインストールして実行します。



2. バックアップファイルをコンピュータにコピーします。
3. ファイルを開くボタンをクリックするか、再生リストの + ボタンをクリックして、ビデオファイルを読み込みます。".rf", ".avi", ".mp4", ".264", ".265" ファイルの追加と再生に対応しています。▼ ボタンをクリックすると、バックアップされたビデオを含むフォルダが読み込まれます。

VideoPlayer Control



1、再生リスト：

ファイルを追加

ファイルを削除

再生モードの選択：1つのファイルを再生して停止します。リストされたすべてのファイルを順番に再生する。1つのファイルを繰り返します。すべてのファイルを繰り返します。



ファイル名で保管する

2. プレイリストの表示 / 非表示



ファイルを開くまたはフォルダを読み込みます

3. 再生コントロール



再生



一時停止

停止

フレームごとに再生します。一度クリックすると動画のフレームが再生されます。

スロー再生、1 / 2, 1 / 4, 1 / 8, 1 / 16 倍速

早送り、x2、x4、x8、x16

4.



ボリュームコントロール



マルチスクリーンプレイ。一度に複数のビデオを再生することができます。マルチスクリーンを選択すると、プレイリストのビデオを再生画面にドラッグできます。

5.



スナップショットを撮る

ビデオクリップをコンピュータに保存する。

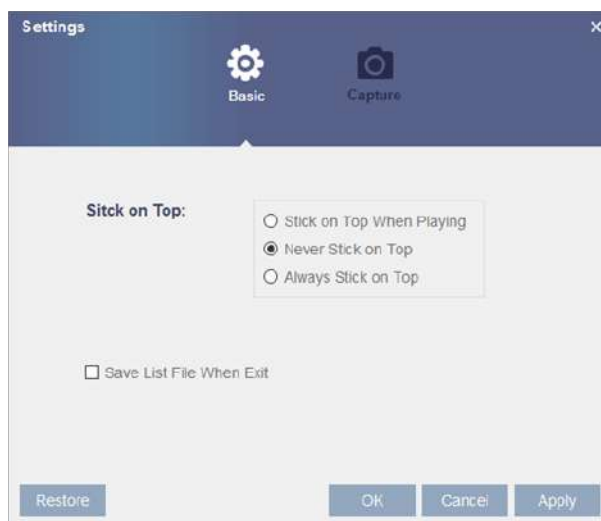


ビデオプレーヤーを一番上に固定します
ビデオ再生画面をフルスクリーンに拡大する

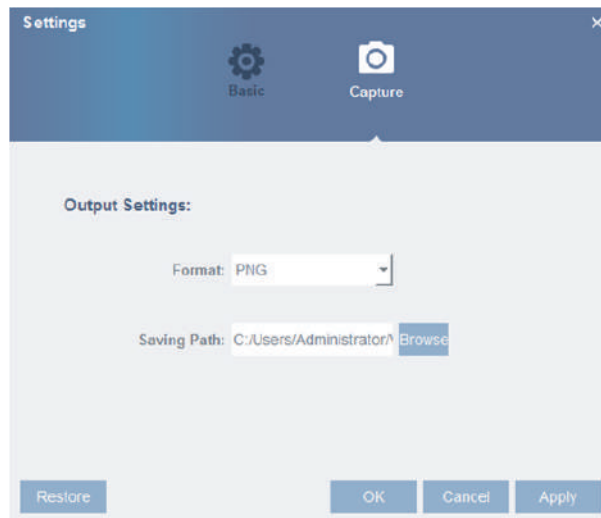
6.



詳細設定メニュービデオプレーヤーの OSD 言語を選択し、ビデオプレーヤーの設定を構成することができます。



基本設定：オントップモードに設定



キャプチャー設定：スナップショットを保存する形式とパスを設定します。

第9章モバイルデバイスによるリモートアクセス

NVR は、Android および iOS オペレーティングシステムに基づくモバイルデバイス経由のリモートアクセスをサポートします。

- 1) Android 搭載端末や iOS 端末の App Store、Google Play ストアから
WTW VIEW(App Store), WTW VIEWER9 (Google Play ストア)をインストールします。
- 2) アプリを実行すると、ライブビュー画面が表示されます。



- 3)  アイコンをクリックしてデバイスリストページを開き、

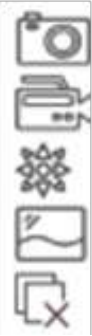
+ をタップしてデバイスを追加します。



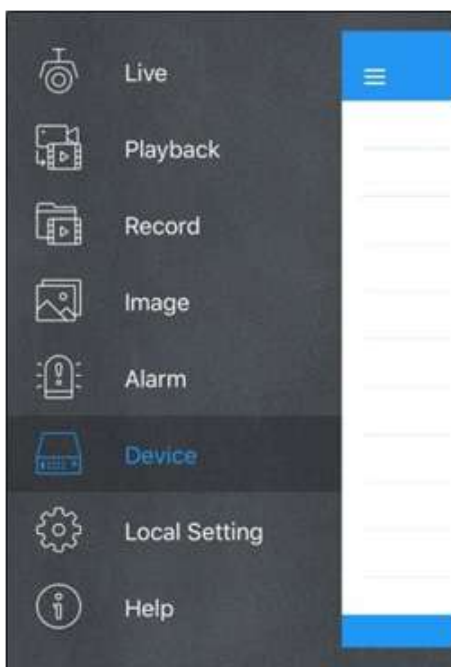
- 4) 「手動」を選択し、NVR 情報を入力します。

デバイス名 : 任意の名前を設定ください。
ログインタイプ : 接続方法を選択ください。
- デバイス ID : P2P 接続
- IP/ ドメイン : IP アドレスもしくは DDNS
デバイス ID : P2P ID をスキャンするか手動入力してください。
メディアポート : NVR のネットワーク設定のメディアポートを入力します
ユーザー名 : ユーザー名を入力してください。
パスワード : パスワードを入力してください。
チャンネル : システムは、接続された後、NVR のチャンネル数を表示します

- 5) すべての設定が完了したら、[保存] をタップして保存します。

		4 画面表示
		6 画面表示
		8 画面表示
		9 画面表示
		16 画面表示
	注意：アプリは 1 つの画面に最大 16 画面を表示します。他の 16 枚の写真を表示するには、画面をスリップして次の画面に移動できます。全部で 80 画面を表示できます。	
		スナップショット
		携帯電話に録画します
		PTZ コントロール
		画質
		すべての画面を閉じる
		音声の ON/OFF
		画面の大きさを調整
		デュアル音声（オプション）

- 6)  アイコンをクリックして、ライブビュー、再生、ローカル録画ビデオ、キャプチャー画像、プッシュアラーム通知、デバイスマネージャ、ローカル設定、ヘルプのメニューリストを開きます。



第 10 章補足

10.1 トラブルシューティング

1. Q : NVR が HDD を検出しない場合はどうすればよいですか？
A : 電源が正しく接続されているか、HDD に問題があるかどうかを確認してください。
また仕様や説明を参照して、HDD が対応しているかどうかを確認してください。
2. Q : パスワードを変更しましたが、新しいパスワードを忘れました。
どうすれば NVR にアクセスできますか？
A : パスワードを忘れた場合は、販売元へお問い合わせください。
3. Q : PC から HDD を取り出し、NVR に取り付けたいです。どうすればいいですか？
A : NVR に対応している HDD であればご使用いただけます。ただし、
HDD 内のデータが全て失われる可能性がありますので予めご了承ください。
4. Q : 録音中に再生することはできますか？
A : はい。録音中に録画を再生することは可能です。
5. Q : NVR の HDD データを削除することはできますか？

A：セキュリティ上、データの一部を削除することはできません。

すべてのデータを削除する場合は、HDD をフォーマットする必要があります。

6. Q：なぜ NVR クライアントにログインできないのですか？

A：ネットワーク接続の設定が正しいか、RJ-45 ポートが正しく接続されているかどうかを確認してください。またアカウントのユーザー名とパスワードがあっているかどうかを確認してください。

7. Q：なぜ NVR が PTZ を制御できないのですか？

A：次の点を確認してください：

- a) フロント PTZ が誤動作している。
- b) PTZ デコーダの設定、接続、インストールが正しくされていない。
- c) NVR の PTZ 設定が正しくなされていない。
